

# FIRE REPORT 2019



文化財防火デーに伴う火災防ぎょ訓練  
於 宗像大社

福岡県  
宗像地区消防本部

Firereport2019 は、宗像地区消防本部の消防現勢及び平成30年中の消防統計などを、広く紹介するために収録したものです。

なお、このFirereport2019 の統計資料は原則として暦年をもって表していますが、予算その他との関係から会計年度で収録したものもあります。

令和元年8月

**【表紙】**

文化財防火デーの制定は、昭和24年1月26日に、現存する世界最古の木造建造物である法隆寺の金堂が炎上し、壁画が焼損したことに基づいています。当本部では、毎年文化財防火デーにあわせて、平成29年7月に世界遺産に登録された「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の一部である「宗像大社辺津宮」において訓練を実施しています。

## 一目でわかる宗像消防

人 口	面 積	世 帯 数
161,918人	172.7km <sup>2</sup>	70,007世帯
署 所	消防職員	平均年齢(消防職員)
2署2出張所 1分遣所	148人 (うち再任用短期職員9人)	38.1歳
防火対象物	危険物施設	消 防 水 利
3,900棟	173施設	消火栓 1,706基 防火水槽 715基
出火件数	救急出動件数	消 防 団 員
36件	6,660件	928人



## むなかたの消防

管内の概要	1
地域紹介	2
消防本部(署)の配置現況	4
組合・消防本部沿革	6
組合の組織	12
消防本部・消防署の組織	13
消防本部の事務分掌	15
消防署の事務分掌	17
消防相互応援協定の状況	19
消防本部の主なできごと	20

財政の状況	31
過去3年間における消防負担金状況	31
平成31年度宗像地区事務組合 一般会計当初予算	32
平成29年度消防費決算額と 一般会計決算額との比較	32
平成29年度消防費決算と 消防費基準財政需要額	33

## 予 防

防火対象物の現状	34
消防用設備等の設置状況	35
防火管理者を必要とする事業所の状況	36
防火対象物の予防査察状況	37
建築同意事務処理状況	38
中高層建築物(5階以上)の現状 工事整備対象設備等着工届 事務処理状況	40
法令に基づく届出処理状況	40
危険物施設の現況	41
危険物施設立入検査実施状況	41
危険物規制事務処理状況	42
宗像地区防災協会	43
宗像地区幼少年婦人防火委員会	44
防火団体構成表	45

## 総 務

職員の階級別定員および実員	22
職員の階級別任用、退職状況	22
職員の配置状況	22
職員の階級別年齢	23
職員の階級別勤続年数	24
職員の資格(講習)取得状況	25
職員の研修状況	26
消防大学校の教育状況	27
職員の表彰受賞状況	27
訓練・指導等の実施状況	28
職員の教養実施状況	28
消防力の状況	29
面積・人口および世帯数に対する 常備消防力	30
消防団の現況	30

## 警 防

### 車両・資器材等

現有車両の諸性能	46
消防車両等の配置状況	48
救助資器材の配置状況	50
消防水利の現況	50
救急資器材の配置状況	52

### 火 災

平成30年中の火災概況	53
火災の状況	54
火災種別件数	55
火災種別損害額	55
市別出火件数	56
市別損害額	56
宗像市内の火災状況	57
福津市内の火災状況	58
月別出火件数及び損害状況	59
過去10年間の出火件数の推移	60
原因別出火件数	61
過去10年間の主な出火原因の推移	61
建物用途別出火件数	62
建物火災の出火原因	62
覚知別出火件数	63
曜日別出火概況	63
時間別出火概況	64
気象別出火件数	65
月別・市別出動車両・出動人員	66

### 救 急

平成30年中の救急概況	67
過去10年間の救急出動件数及び 人口の推移	68
過去10年間の3大事故種別(急病・交通事故 ・一般負傷)の出動件数の推移	69
管内総括表	70
市別総括表	71
救急自動車による現場到着所要時間別 出動件数の状況	72
医療機関収容所要時間	73
曜日別出動件数	74
時間別出動件数	75
傷病程度別搬送人員	76

年齢別搬送人員	77
救急隊員が行った応急処置等の状況	78
急病にかかる疾病分類別搬送人員	79
応急手当普及啓発活動状況	80
消防隊による救急活動状況	81

### 救 助

平成30年中の救助概況	82
管内総括表	83
主な救助活動	83
市別救助出動件数	84
月別救助出動件数	84

### 通信指令

119番受信状況	85
----------	----

## 消 防 団

消防団の活動	86
消防団の組織	87
福岡県消防協会 宗像地区連絡協議会の組織	89
消防団員の定員および実員	89
消防団の出動状況	89
消防ポンプ車等の装備状況	89

宗像地区は、福岡県北部に位置し、福岡市と北九州市という2つの政令指定都市の中間にあるという立地の良さと、東西に横断するJR鹿児島本線や国道3号線および国道495号線により二大都市への交通アクセスが充実し、住宅団地や大学、大型商業施設などが相次いで進出しました。これに伴い、急激な都市化が進み、生活環境や都市基盤が整備され、教育や文化、子育て支援などが充実し、人口も増加してきました。人口減少時代に突入している現在においても、人口を維持し続けています。



宗像市日の里から玄界灘を望む

また、北東には四塚の峰が連なり、西は玄界灘に面し、白砂青松の地は玄海国立公園の一角をなしており、古墳や住居跡が点在し、玄界灘を中心に活躍した「宗像海人賊」によってさまざまな大陸文化がもたらされ、宗像大社、鎮国寺、宮地嶽神社をはじめとする国宝や重要文化財にも指定された神社、仏閣等も点在し、「古事記」や「万葉集」にも地名がみられるなど、古から栄えたことを物語っています。

さらに、福岡県と宗像市、福津市は協力して「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議を設置して、世界遺産登録に向けて官民一体となった取り組みを推進し、「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群が世界文化遺産登録の国内候補に選ばれ、平成28年1月28日に正式版推薦をフランス・パリのユネスコ世界遺産センターに提出し、受理されました。平成29年5月6日に、『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群について、イコモス(国際記念物遺跡会議)より、「記載」が適当(ただし、宗像大社沖津宮遙拝所、宗像大社中津宮、宗像大社辺津宮、新原・奴山古墳群を除く)との勧告がなされました。さらに7月9日には、ユネスコの世界遺産委員会により、イコモスによって除外された残りの構成資産も世界文化遺産に登録されることが決まりました。

## 管内の面積・人口および世帯数

(平成30年12月31日)

構成市	面積(km <sup>2</sup> )	人口(人)	世帯数(世帯)
宗像市	119.94	97,128	42,480
福津市	52.76	64,706	27,200
合計	172.7	161,834	69,680

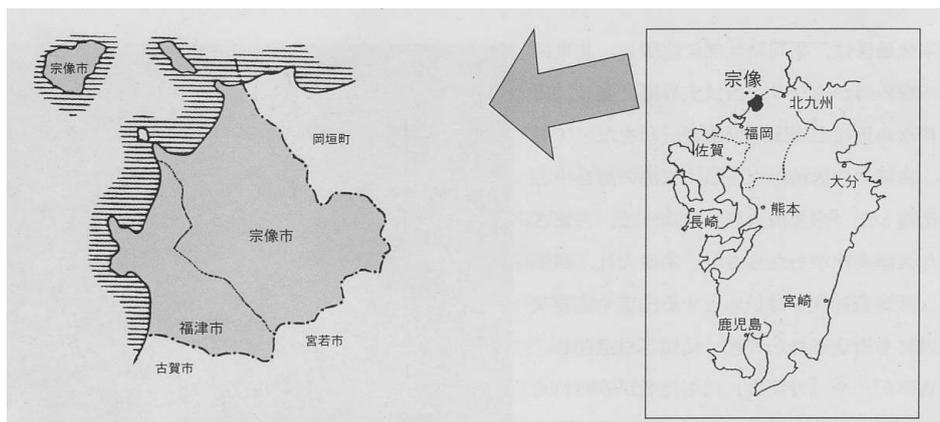
## ※市町村合併の状況

平成15年4月1日宗像市と旧玄海町が合併。新「宗像市」となる。

平成17年1月24日旧福間町と旧津屋崎町が合併。「福津市」となる。

平成17年3月28日旧大島村が宗像市へ編入合併。現在の「宗像市」となる。

## 地域紹介



### 宗 像 市 MUNAKATA

- 人 口 / 97,128人
  - 世帯数 / 42,480世帯
  - 面 積 / 119.94km<sup>2</sup>
- 「海・山・川に生まれ、教育・文化と歴史がいきるコミュニティのまち」



海上神幸「みあれ祭」

#### ◆宗像市のプロフィール◆

福北大都市圏のほぼ真ん中に位置する宗像市。市の北西部は玄界灘に面し、白い砂浜の海岸線と樹齢200年以上の黒松並木が続くさつき松原は、玄海国定公園の中でも屈指の景観を誇っています。市内には、日本最古の神社である宗像大社や弘法大師が開基した鎮国寺、装飾古墳の桜京古墳など多くの歴史的遺跡が点在しており、玄界灘の孤島沖ノ島では、純金製指環、青銅鏡、ペルシャカットガラスなど約12万点もの国宝や重要文化財が発掘され、別名「海の正倉院」と呼ばれており、この沖ノ島（宗像大社沖津宮）、小屋島、御門柱、天狗岩、宗像大社沖津宮遙拝所、宗像大社中津宮及び宗像大社辺津宮が世界文化遺産に登録されました。

また、美しい自然や歴史的な文化遺産に恵まれた良好な環境の中、市内には2つの大学が立地し、総合文化施設である宗像ユリックスやむなかたリサーチパークなど、学術都市としての特徴を持っています。

## 福 津 市 FUKUTSU

- 人 口 / 64,706人
  - 世帯数 / 27,200世帯
  - 面 積 / 52.76km<sup>2</sup>
- 「人を、明日を、誇るまち。  
福津。」



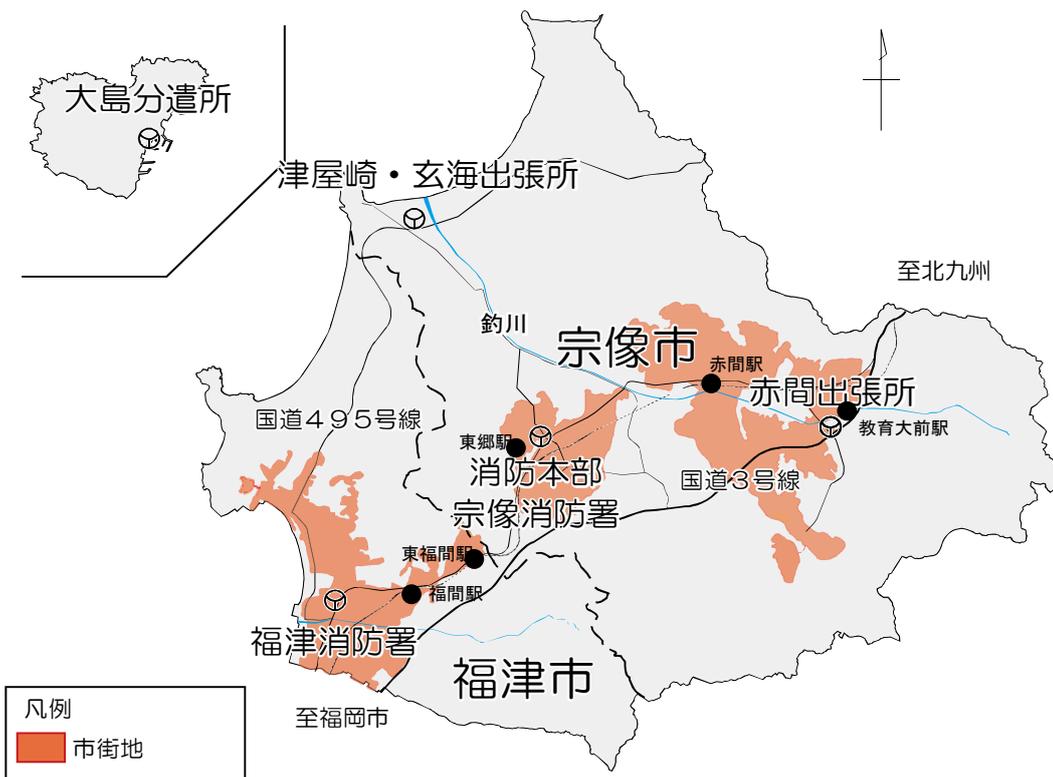
福 間 海 岸

### ◆福津市のプロフィール◆

福津市は、福岡県の北部で福岡市と北九州市の近隣に位置し、北東側は宗像市、南東側は宮若市、南側は古賀市に隣接しており、西側は玄界灘に面しています。また、東部を山、西部を海に囲まれ、特に海岸一帯と宮地嶽神社周辺の山林は、昭和31年に玄海国定公園に指定され、風光明媚な自然景観を形成しています。一方、交通網は、東西にJR鹿児島本線、国道3号線が延び、海岸線と併行して国道495線号が走っています。さらに、近くには九州自動車若宮インターチェンジ、古賀インターチェンジもあり、広域的な交通利便性にも富んでいます。このため、福津市は宮地嶽神社や津屋崎・福間海岸などを中心とした観光レクリエーションの場として、また、福岡・北九州両政令指定都市への通勤・通学の利便性を背景とした住宅地域として、さらには、新鮮な食料品の生産供給地域としての広域的な役割をもっています。また、平成29年7月9日に「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」として、福津市北部の勝浦・奴山に所在する新原(しんぼる)・奴山(ぬやま)古墳群が世界文化遺産に登録されました。

# 消防本部(署)の配置現況

## 管内地図



(平成31年4月1日現在)

区分	庁舎全景(所在地)	庁舎の構造	職員・車両	摘要
宗像地区消防本部	 宗像市田熊5丁目1番3号	敷地面積 4520.23㎡  鉄筋コンクリート造 及び鉄骨造 2階建  建築面積 1397.38㎡	職員数32人 (内再任用者2人) 車両台数 3台	TEL (0940) 36-2425  FAX (0940) 37-0011
宗像消防署		延べ面積 2425.32㎡ (訓練塔等を含む)	職員数58人 (内再任用者5人) 車両台数 14台	

区分	庁舎全景(所在地)	庁舎の構造	職員・車両	摘要
宗像消防署	赤間出張所  宗像市徳重2丁目8番1号	敷地面積 1,118.31㎡ 鉄骨造 2階建 建築面積 294.64㎡ 延べ面積 402.41㎡	職員数18人 車両台数 3台	TEL (0940) 32-6837 FAX (0940) 35-5195
	大島分遣所  宗像市大島1650-2	敷地面積 645.00㎡ 鉄骨ブロック造 平屋建 延べ面積 160.46㎡ (倉庫等を含む)	職員数3人 (内再任用者1人) 車両台数 1台	TEL (0940) 72-2310 FAX (0940) 72-2546
福津消防署	福津消防署  福津市西福間1丁目1番27号	敷地面積 1,051.03㎡ 鉄筋コンクリート造 2階建 建築面積 292.73㎡ 延べ面積 501.64㎡ (倉庫等を含む)	職員数29人 (内再任用者1人) 車両台数 5台	TEL (0940) 43-0521 FAX (0940) 43-7034
	津屋崎・玄海出張所  宗像市牟田尻1860-41	敷地面積 1,165.00㎡ 鉄骨造 2階建 建築面積 214.55㎡ 延べ面積 307.28㎡	職員数8人 車両台数 2台	TEL (0940) 62-3815 FAX (0940) 62-1206

# 組合・消防本部沿革

## (設立)

昭和48年11月15日宗像郡宗像町の日の里公団アパートにおいて、プロパンガスの爆発火災(死者2人、重軽傷者9人)が発生し、これに端を発し、直ちに宗像町議会で常備消防の必要性が議論され、これが郡内他町村へ波及し、広域消防設立への気運が高まった。

その後、数回にわたる郡内町村会議による協議の結果、宗像郡消防組合設立が決定され、昭和49年4月1日付をもって福岡県知事より消防組合設立の許可を受け、同年6月1日宗像郡消防本部、同年10月1日宗像消防署の設置を見るに至った。

## (過程)

昭和 49 年	4 月	1 日	初代組合長 由良半三郎氏就任
(1974)	6 月	1 日	消防本部(署)の設置に関する条例が組合議会において可決 初代消防長 宗實就任
	7 月	13 日	日本消防協会から広報車が寄贈される
	7 月	31 日	宗像郡消防本部(署)建設用地の確保及び福岡分署建設用地の購入決定
	9 月	1 日	消防本部(署)の仮事務所を、宗像町大字田熊1193番地の1の旧宗像農業改良普及事務所跡地に開設
	10 月	1 日	消防業務の一部(予防事務及び火災原因調査)を開始
	10 月	1 日	消防吏員40人採用(内38人が福岡県消防学校初任教育に入校)
	10 月	25 日	大島分遣所建設用地の確保決定 (大島村と借地契約を締結:無償期間2025年3月31日まで)
	10 月	15 日	消防庁舎(3署所)の建設工事契約及び着工
昭和 50 年	3 月	17 日	日本損害保険協会及び日本自動車工業会から救急自動車各1台が寄贈される
(1975)	3 月	20 日	福岡県消防学校初任教育(38人)を修了し、実務に就いた
	3 月	31 日	消防庁舎(3署所)建築工事が完成
	4 月	1 日	消防庁舎(3署所)の開庁式及び消防業務が全面開始
	4 月	1 日	消防吏員11人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	10 月	1 日	宗像町サイレン遠隔操作開始
	10 月	16 日	救助工作隊結成
昭和 51 年	2 月	18 日	屈折はしご付消防ポンプ自動車購入
(1976)	4 月	1 日	消防吏員8人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	6 月	16 日	二代目組合長 天野敏樹氏就任
	7 月	31 日	救助工作車購入
	10 月	1 日	消防吏員1人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	11 月	15 日	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車が寄贈される
	11 月	22 日	日本損害保険協会から救急自動車が寄贈される
	12 月	7 日	本部敷地内に車庫1棟を建設
昭和 52 年	3 月	1 日	広報紙「消防宗像」創刊号を発行
(1977)	3 月	31 日	救急無線取付工事完了
	6 月	6 日	人員搬送車を購入
	6 月	13 日	大島分遣所電動シャッター取付工事完了
	10 月	1 日	消防吏員4人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	10 月	29 日	化学消防ポンプ自動車を購入、本署に配備
昭和 53 年	3 月	24 日	(有)蔭田モータースから査察車が寄贈される
(1978)			
昭和 54 年	1 月	20 日	本署用地所有権移転登録完了
(1979)	10 月	1 日	消防吏員3人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	10 月	25 日	大島分遣所危険物屋内貯蔵所完成
	11 月	1 日	本署消防訓練塔着工
	12 月	11 日	日本自動車工業会から救急自動車が寄贈される
	12 月	20 日	本署少量危険物屋内貯蔵所完成

昭和 55 年 (1980)	1 月 22 日	本署仮設車庫完成
	2 月 7 日	宗像オートから水防用資機材運搬車が寄贈される
	3 月 13 日	本署消防訓練塔完成
	8 月 10 日	本署自家発電設備設置
	8 月 31 日	本署通信指令室増改築
昭和 56 年 (1981)	12 月 1 日	高層ビルガス爆発防ぎょ訓練実施(宗像市日の里)
	4 月 1 日	消防本部名称変更(宗像郡消防本部から宗像地区消防本部)
	4 月 1 日	消防吏員5人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	6 月 30 日	本署、タイプ室及び給湯室増改築
	10 月 25 日	玄洋福岡ライオンズクラブから指令車寄贈、本署に配備
昭和 57 年 (1982)	11 月 15 日	日本自動車工業会から救急自動車が寄贈、本署に配備
	2 月 15 日	二代目消防長 山内伸夫就任
	3 月 30 日	福岡分署敷地拡張用地(301㎡)購入
	6 月 1 日	無線制ぎょサイレン(宗像、福岡、津屋崎、玄海)設置
	6 月 21 日	福岡分署車庫シャッター取付工事完了
昭和 58 年 (1983)	8 月 10 日	福岡分署敷地拡張工事竣工
	8 月 20 日	消防無線空中線改修
	9 月 30 日	福岡分署訓練塔(鉄骨造)完成
	11 月 1 日	本署訓練塔(鉄骨ALC)完成
	11 月 4 日	事務連絡車購入、本部に配備
昭和 59 年 (1984)	12 月 27 日	本署屋内訓練場改修
	12 月 27 日	本署倉庫兼書庫(鉄骨プレハブ造)完成
	4 月 1 日	消防吏員4人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	5 月 31 日	査察車購入、本部に配備
	10 月 9 日	小型動力ポンプ付積載車購入、大島分遣所に配備
昭和 60 年 (1985)	11 月 20 日	消防ポンプ自動車を購入、福岡分署に配備
	3 月 4 日	乗用車購入、本部に配備
	4 月 1 日	三代目消防長 坂本守正就任
	5 月 2 日	指揮車購入、福岡分署に配備
	10 月 12 日	水槽付消防ポンプ自動車を購入、福岡分署に配備
昭和 61 年 (1986)	10 月 12 日	救助工作車購入、本署に配備
	10 月 22 日	福岡県共済農業協同組合連合会から救急自動車が寄贈され、福岡分署に配備
	4 月 1 日	消防吏員2人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	5 月 7 日	調査車購入、本署に配備
	5 月 14 日	広報車購入、本部に配備
昭和 62 年 (1987)	5 月 24 日	人員搬送車購入、本署に配備
	6 月 16 日	福岡分署改築工事竣工
	9 月 3 日	消防ポンプ自動車を購入、本署に配備
	9 月 10 日	資機材運搬車購入、本署に配備
	8 月 18 日	本部(署)庁舎増改築工事着工
昭和 63 年 (1988)	3 月 15 日	本部(署)庁舎増改築工事竣工
	5 月 26 日	福岡県総合防災訓練実施(玄海町鐘崎)
	6 月 2 日	三代目組合長 的場重郎氏就任
	9 月 1 日	本署通信指令室の移転工事着工

平成 元年 (1989)	2月 1日	本署通信指令室の改築工事完了	
	2月 1日	消防緊急情報システム運用開始	
	3月 17日	救急自動車購入、赤間出張所に配備	
	4月 1日	消防吏員7人採用、福岡県消防学校初任教育に入校	
	6月 1日	赤間出張所建設工事着工	
	9月 27日	(社)日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車が寄贈され、赤間出張所に配備	
	9月 30日	赤間出張所建設工事完了	
	10月 9日	赤間出張所実働開始	
	平成 2年 (1990)	4月 1日	消防吏員8人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
		5月 17日	(社)日本損害保険協会から救急自動車が寄贈され、赤間出張所に配備
7月 20日		神湊出張所建設工事着工	
11月 20日		水槽付消防ポンプ自動車購入、神湊出張所に配備	
12月 20日		神湊出張所建設工事完了	
平成 3年 (1991)	12月 26日	神湊出張所実働開始	
	3月 27日	玄洋福岡ライオンズクラブから救急自動車が寄贈される	
	4月 1日	消防吏員3人採用、福岡県消防学校初任教育に入校	
	5月 30日	福岡分署仮眠室ベット改修工事完了	
	7月 25日	大島分遣所軽量シャッター取付工事完了	
平成 4年 (1992)	10月 30日	訓練塔(主塔)改修工事完了	
	3月 5日	水槽付消防ポンプ自動車購入、本署に配備	
	3月 31日	本部の前面敷地を県道拡張のため、福岡県に売却(81.82㎡)	
	4月 1日	消防吏員10人採用、福岡県消防学校初任教育に入校	
	8月 15日	大島分遣所内装工事完了	
平成 5年 (1993)	10月 12日	四代目組合長 瀧口凡夫氏就任	
	11月 27日	本部の前面敷地を県道拡張のため、福岡県に売却(45.05㎡)	
	4月 1日	消防吏員5人採用、福岡県消防学校初任教育に入校	
	4月 1日	財務会計処理のためのコンピューター導入	
	7月 10日	福岡分署シャッター取替工事完了	
平成 6年 (1994)	10月 4日	40m級はしご付消防ポンプ自動車を購入	
	2月 28日	日本自動車工業会から高規格救急自動車(ニッサンパラメディック)が寄贈される	
	3月 17日	屈折はしご付消防ポンプ自動車を戦友会を通じてミャンマーへ贈る	
	4月 1日	四代目消防長 多賀富男就任	
	4月 1日	消防吏員7人採用、福岡県消防学校初任教育に入校	
平成 7年 (1995)	4月 19日	消防組合設立20周年記念式典開催 広報用ビデオ「出動!!ファイヤーファイター」制作 20周年記念誌「消防宗像(20年の歩み)」作成	
	7月 29日	指令車(スバルレガシー・ワゴン)購入、本署に配備	
	9月 6日	福岡無線中継局更新	
	11月 11日	救急伝送システム運用開始、宗像水光会総合病院に設置	
	2月 17日	阪神淡路大震災による被災地(神戸市)支援部隊派遣	
	4月 1日	消防吏員5人採用、福岡県消防学校初任教育に入校	
	4月 24日	乗用車(トヨタ・クラウン)購入、本部に配備	
	5月 27日	消防庁長官から、阪神淡路大震災の消防支援活動功労として感謝状が贈られる	
	6月 30日	緊急消防援助隊発足(救急隊を登録)	
	9月 18日	赤間出張所増築工事完了	
平成 7年 (1995)	10月 18日	福岡分署内装補修工事完了	
	11月 1日	赤間出張所8人増員、1箇分隊増強	
	11月 1日	防災パンフレット「わが家の防災ガイド」を60,000部作成し、管内全世帯に配布する	
	12月 16日	消防ポンプ自動車(モリタMX1)購入、赤間出張所に配備	
	12月 28日	救急伝送システムを宗像医師会病院に設置(管内2カ所目)	

平成 8 年 (1996)	4 月 1 日	消防吏員4人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	5 月 29 日	大規模災害時の応急救護所及び現場指揮所等施設のために、エアータント購入
	9 月 12 日	事務連絡車(トヨタカローラ・ワゴン)購入、本部に配備
	10 月 7 日	大島村住民向けに、ネットワークサービス(オフトークシステム)運用開始
	10 月 28 日	宗像消防署訓練塔改修工事
	11 月 5 日	救急伝送システムを蜂須賀病院に設置(管内3カ所目)
平成 9 年 (1997)	11 月 27 日	小型動力ポンプ付積載車購入、大島分遣所に配備
	4 月 1 日	消防吏員 4 人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	7 月 1 日	調査車(トヨタハイエース)購入、本部に配備
	7 月 7 日	査察車(マツダカペラ・ワゴン)購入、本部に配備
	8 月 28 日	福岡県知事から、消防防災功労団体として、消防本部に感謝状が贈られる
	11 月 4 日	化学消防ポンプ自動車(日野FD1JGB10643)購入、本署に配備
平成 10 年 (1998)	11 月 21 日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック災害対応型)購入、福間分署に配備
	1 月 27 日	宗像消防署・福間分署・大島分遣所改修工事完了
	3 月 7 日	消防庁長官から優良消防機関として、消防本部に表彰旗が贈られる
	4 月 1 日	宗像地区事務組合公平委員会事務が、宗像清掃施設組合から宗像地区消防組合に移管される
	11 月 25 日	消防ポンプ自動車(モリタMX1)購入、本署に配備
	12 月 21 日	高規格救急自動車(ニッサンパラメディック災害対応型)購入、赤間出張所に配備
平成 11 年 (1999)	3 月 31 日	財務会計システムを更新
	11 月 15 日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック災害対応型)購入、神湊出張所に配備
	11 月 18 日	指揮車(ニッサンセレナ)購入、本署に配備
	11 月 26 日	福間分署倉庫新築
平成 12 年 (2000)	4 月 1 日	五代目消防長 吉武秋生就任
	4 月 17 日	消防車救急先行システム開始
	6 月 8 日	五代目組合長 池浦順文氏就任
	8 月 29 日	救助工作車(日野KK-GD1JGDF)購入、本署に配備
	10 月 17 日	広報車(トヨタカルディナ)購入、福間分署に配備
平成 13 年 (2001)	4 月 1 日	消防吏員 2 人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	11 月 1 日	玄洋福岡ライオンズクラブから「インパルス消火システム」が寄贈され、本署に配備
平成 14 年 (2002)	1 月 29 日	消防ポンプ自動車購入、福間分署に配備
	2 月 1 日	高規格救急自動車(ニッサンパラメディック災害対応型)購入、本署に配備
	2 月 15 日	神湊出張所倉庫増築工事完了
	4 月 1 日	消防吏員 3 人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	12 月 19 日	水槽付消防ポンプ自動車購入、赤間出張所に配備
平成 15 年 (2003)	4 月 1 日	旧宗像市と旧玄海町が合併新「宗像市」誕生
	4 月 8 日	消防吏員 5 人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	7 月 25 日	はしご付消防ポンプ自動車オーバーホール完了
	8 月 4 日	赤間出張所屋根防水工事完了
	8 月 4 日	神湊出張所外壁塗装工事完了
	8 月 29 日	資機材搬送車購入、本署に配備
	10 月 1 日	六代目消防長 木村幸雄就任
平成 16 年 (2004)	4 月 7 日	消防吏員 2 人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	7 月 10 日	本部(署)庁舎増改築工事着工
平成 17 年 (2005)	1 月 24 日	旧福間町と旧津屋崎町が合併「福津市」誕生
	1 月 24 日	六代目組合長 原田慎太郎氏就任
	1 月 31 日	本部(署)庁舎増改築工事完了

	3月	28日	旧大島村が宗像市へ編入合併
	3月	28日	七代目組合長 池浦順文氏就任
	3月	31日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック災害対応型)購入、福岡分署に配備
	4月	1日	緊急消防援助隊に消火部隊を登録
	4月	1日	消防吏員7人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	12月	17日	本部(署)庁舎改築第2期工事着工
	12月	19日	災害対応特殊高規格救急自動車(ニッサンパラメディック災害対応型)、緊急消防援助隊動態情報システム購入、赤間出張所に配備
平成 18年 (2006)	3月	7日	高機能消防指令センター総合整備事業完了、運用開始
	4月	1日	交替制勤務職員の勤務体制を二部制から三部制とし運用開始
	4月	1日	消防吏員2人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	5月	28日	福岡県総合防災訓練実施(福津市西福岡)
	12月	21日	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車購入、神湊出張所に配備
平成 19年 (2007)	1月	1日	消防本部に救急課を設置
	3月	31日	宗像地区内の一部事務組合の統合により宗像地区消防組合が解散

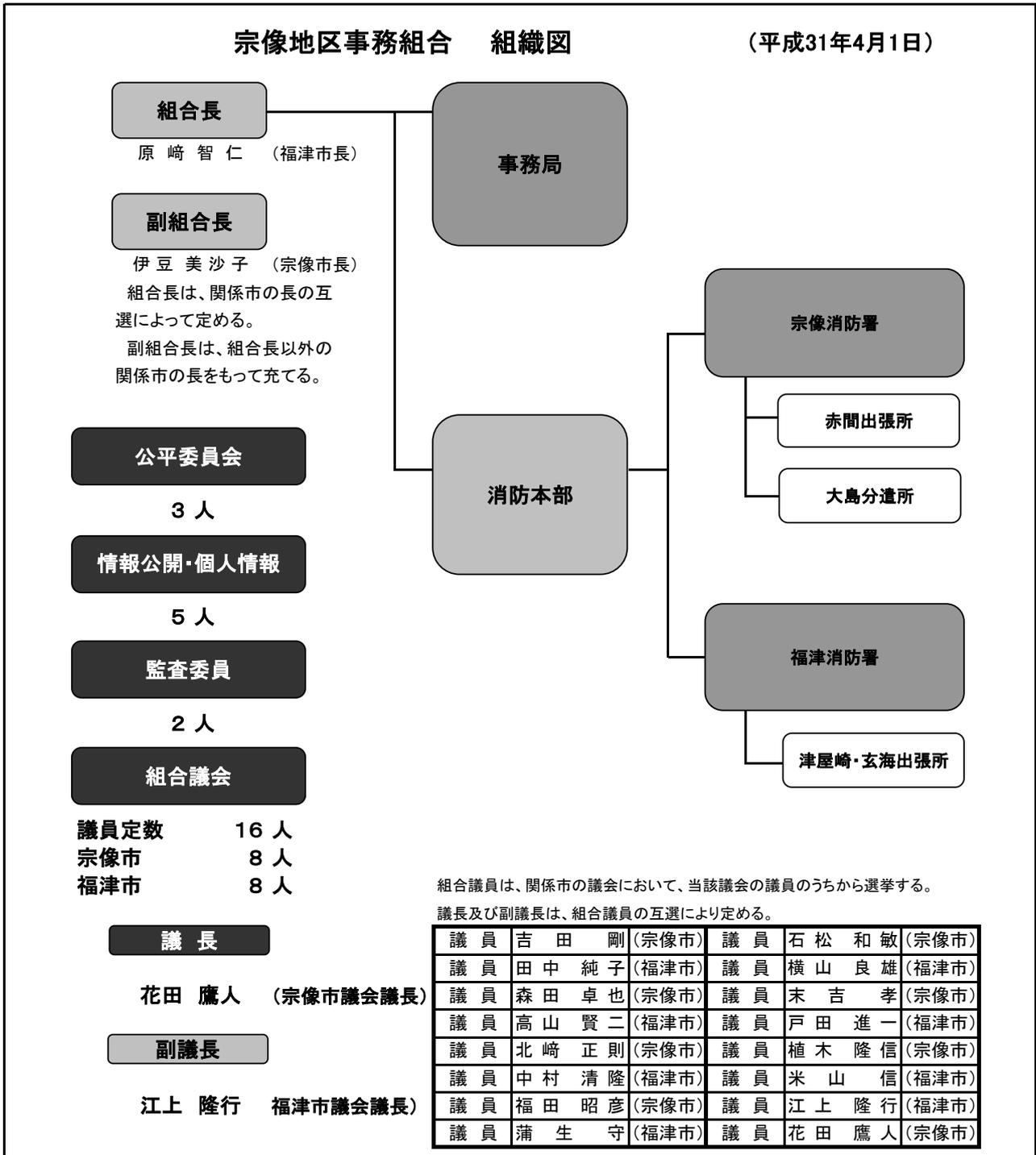
※ 平成19年4月1日、宗像地区消防組合、宗像自治振興組合、宗像地区水道企業団及び宗像清掃施設組合が統合し、「宗像地区事務組合」となる。これに伴い3月31日をもって消防組合は解散。

平成 19年 (2007)	4月	1日	旧宗像地区水道企業団、旧宗像自治振興組合、旧宗像清掃施設組合、旧宗像地区消防組合が統合し宗像地区事務組合発足
	4月	1日	初代組合長 池浦順文氏就任
	4月	1日	消防吏員4人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	9月	1日	IP・携帯電話発信地表示システム運用開始
	11月	1日	財務会計システムを更新
平成 20年 (2008)	3月	31日	訓練塔補修工事(屋外階段設置等)完了
	4月	1日	消防吏員6人採用、内4人が福岡県消防学校初任教育に入校
	6月	16日	消防本部庁舎空調機器改修工事完了
	10月	1日	消防吏員1人採用、内3人が福岡県消防学校初任教育に入校
	10月	31日	人事情報システム導入
平成 21年 (2009)	1月	23日	福岡無線中継局、ネットワーク設備改修工事完了
	2月	24日	消防・救急無線デジタル化に伴う電波伝搬調査実施(フィールドテスト)
	3月	6日	二代目組合長 谷井博美氏就任
	4月	1日	七代目消防長 乙藤富雄就任
	4月	1日	消防吏員3人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	7月	21日	庁舎耐震診断実施(本署・福岡分署)
	8月	24日	赤間出張所の全面敷地を県道拡張のため、福岡県に売却(85.2㎡)
	12月	10日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック災害対応型)購入、本署に配備
平成 22年 (2010)	2月	1日	事務局移転(宗像市多禮298番地)
	4月	1日	宗像地区事務組合水道事業統合
	4月	1日	消防吏員4人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	5月	21日	三代目組合長 小山達生氏就任
	10月	1日	119番緊急通報に係る位置情報通知システム(統合型)運用開始
	10月	1日	消防吏員2人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
平成 23年 (2011)	2月	25日	水槽付消防ポンプ自動車購入、福岡分署に配備
	3月	14日	東日本大震災により緊急消防援助隊福岡県隊として宮城県亘理郡山元町へ消火隊及び救急隊各1隊(7人)出動
	4月	1日	八代目消防長 門脇 豊就任
	4月	1日	消防吏員6人採用、内3人が4月、内3人が9月に福岡県消防学校初任教育に入校

平成 24 年 (2012)	12 月 27 日	消防情報表示システム地図検索データ改修完了
	3 月 28 日	消防救急無線デジタル化基本設計完了 消防指令システム地図検索データ改修完了
	4 月 1 日	消防吏員3人採用、内2人が4月、内1人が9月に福岡県消防学校初任教育に入校
	5 月 21 日	四代目組合長 谷井博美氏就任
	6 月 14 日	赤間出張所外部改修工事完了
平成 25 年 (2013)	9 月 21 日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック災害対応型)購入、神湊出張所に配備
	9 月 24 日	高機能消防指令センター中間整備事業完了
	11 月 8 日	宗像消防署訓練塔改修工事完了
	2 月 21 日	人員搬送車を更新
	3 月 19 日	消防救急無線デジタル化実施設計完了
平成 26 年 (2014)	4 月 1 日	消防吏員4人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	7 月 16 日	福岡分署公共下水切替及び1階2階トイレ改修工事完了
	2 月 3 日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック災害対応型)購入、赤間出張所に配備
	3 月 5 日	支援車(日産エクストレイル)購入、本署に配備
	4 月 1 日	消防吏員2人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
平成 27 年 (2015)	4 月 1 日	交替制勤務職員の勤務体制を三部制から二部制とし運用開始
	5 月 21 日	五代目組合長 小山達生氏就任
	7 月 11 日	福岡分署空調設備取替工事完了
	12 月 15 日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック災害対応型)購入、福岡分署に配備
	12 月 25 日	小型動力ポンプ付積載車(ダイハツハイジェット)購入、大島分遣所に配備
平成 28 年 (2016)	3 月 18 日	宗像消防署訓練塔屋上鉄骨補強、塗装工事完了
	3 月 18 日	消防救急無線デジタル化整備工事完了
	4 月 1 日	消防吏員2人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	8 月 20 日	署活動用無線機を購入、署所へ配置
	9 月 3 日	事務連絡車(日産ウイングロード)購入、消防総務課に配備
平成 29 年 (2017)	10 月 1 日	大島分遣所の勤務体制を二部制から三部制とし運用開始
	11 月 13 日	宗像地区消防本部屋上高圧線修繕工事完了
	2 月 5 日	化学消防ポンプ自動車(日野SDG-GD7JGAA)購入、本署に配備
	2 月 12 日	水槽付消防ポンプ自動車を「カンボジアでの不正を許さぬ会」を通してカンボジア王国:シアヌークビル特別市へ寄贈
	3 月 30 日	福岡市消防局へ消防救急デジタル無線を接続完了
平成 30 年 (2018)	3 月 30 日	株式会社木村組より高規格救急自動車(トヨタハイメディック災害対応型)1台が寄贈される、本署に配備
	4 月 1 日	消防吏員9人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	4 月 15 日	平成28年熊本地震により緊急消防援助隊福岡県隊として熊本県益城町等へ消防車3台延べ42人出動
	5 月 21 日	六代目組合長 谷井博美氏就任
	8 月 3 日	アナログ無線撤去工事
平成 29 年 (2017)	10 月 13 日	宗像地区消防本部屋上及び2階ベランダ防水改修工事
	11 月 7 日	はしご付消防ポンプ自動車(MLLLAH5-30WG)購入、本署に配備
	4 月 1 日	九代目消防長 灘辺正信就任
	4 月 1 日	消防吏員7人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	4 月 13 日	福岡県知事が消防通信指令事務の委託に関する規約の制定に伴う届出を受理
平成 30 年 (2018)	6 月 27 日	査察車購入(スズキ エブリイ)、本部に配備
	7 月 1 日	むなかた・ふくつAEDステーション制度開始
	7 月 6 日	平成29年九州北部豪雨における福岡県消防相互応援協定に基づく派遣消火隊として車両2台、救助艇1艇、職員延べ107人を派遣
	8 月 21 日	宗像地区消防本部屋上防水改修工事
	8 月 31 日	大規模災害発生時における燃料の優先供給に関する覚書締結
平成 30 年 (2018)	11 月 1 日	コンビニAEDステーション開始
	11 月 30 日	福岡都市圏消防通信指令業務共同運用開始
	12 月 6 日	消防ポンプ自動車(CAFS)2台購入、本署及び赤間出張所に配備
	12 月 14 日	調査車購入、本署に配備
	1 月 15 日	災害時における消防用水の確保に関する覚書締結
平成 30 年 (2018)	2 月 6 日	指揮自動車購入、本署に配備
	4 月 1 日	十代目消防長 永島英親就任
	4 月 1 日	消防吏員8人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	4 月 1 日	機構改革を実施 1本部2署2出張所1分遣所体制とし、宗像消防署福岡分署を福津消防署に、宗像消防署神湊出張所を福津消防署津屋崎・玄海出張所に改める

	5月	21日	七代目組合長 原崎智仁氏就任
	7月	27日	平成30年7月豪雨により緊急消防援助隊福岡県隊として広島県広島市へ 消防車1台6人出動
	11月	5日	乗用車(日産 セレナ)購入、本部に配備
平成 31年	1月	25日	指令車購入、福津消防署に配備
(2019)	2月	18日	救助工作車購入、宗像消防署に配備
	3月	18日	高規格救急自動車購入、赤間出張所に配備
	3月	29日	本部敷地内に車庫1棟増築
	4月	1日	消防吏員7人採用、福岡県消防学校初任教育に入校

## 組合の組織

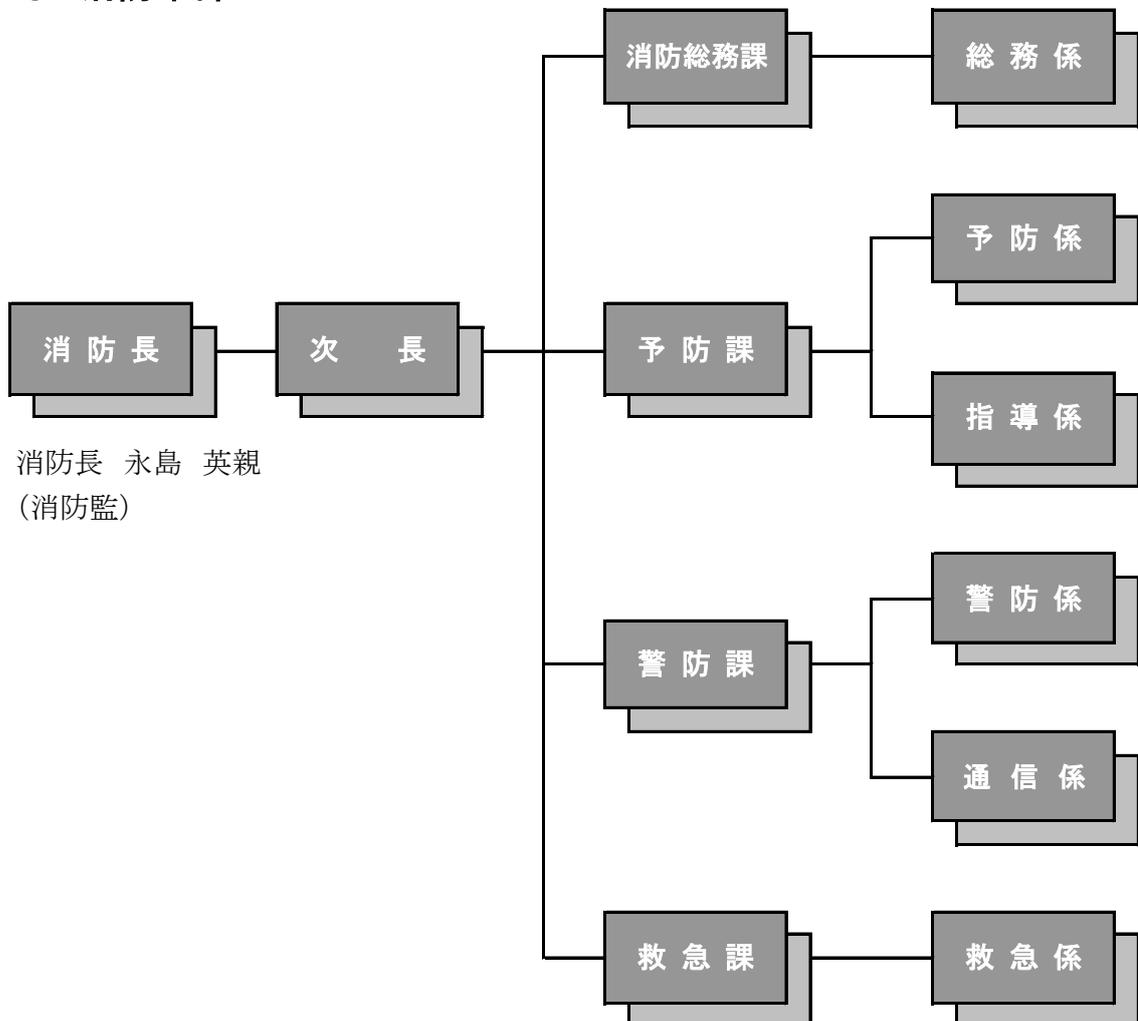


# 消防本部・消防署の組織

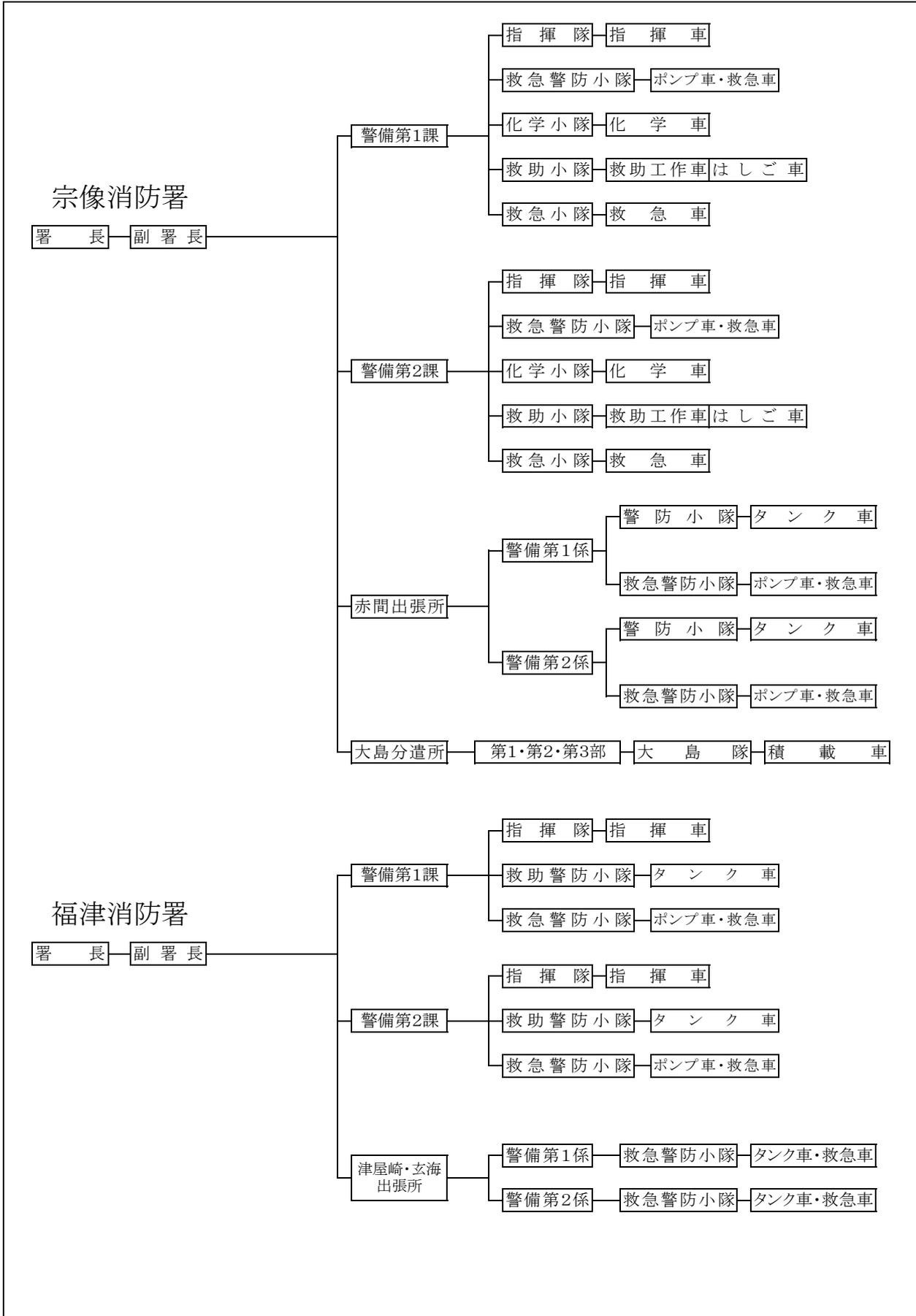
## ○ 歴代消防長

歴代	氏名	在任期間
初代	宗 實	S 49. 6. 1 ~ S 56. 12. 31
二代	山内 伸夫	S 57. 2. 15 ~ S 60. 3. 31
三代	坂本 守正	S 60. 4. 1 ~ H 6. 3. 31
四代	多賀 富男	H 6. 4. 1 ~ H 12. 3. 31
五代	吉武 秋生	H 12. 4. 1 ~ H 15. 3. 31
六代	木村 幸雄	H 15. 10. 1 ~ H 21. 3. 31
七代	乙藤 富雄	H 21. 4. 1 ~ H 23. 3. 31
八代	門脇 豊	H 23. 4. 1 ~ H 29. 3. 31
九代	灘辺 正信	H 29. 4. 1 ~ H 30. 3. 31
十代	永島 英親	H 30. 4. 1 ~

## ○ 消防本部



# ○消防署



# 消防本部の事務分掌

<p>消 防 総 務 課</p>	<p>総 務 係</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 消防本部の組織、制度及び職務権限に関すること。</li> <li>(2) 消防職員の人事に関すること。</li> <li>(3) 消防職員の給与、勤務時間、休日、休暇、福利厚生及び安全衛生等の労働条件管理に関すること。</li> <li>(4) 秘書及び渉外に関すること。</li> <li>(5) 消防事務の企画及び管理に関すること。</li> <li>(6) 消防職員の教育訓練、研修及び監察に関すること。</li> <li>(7) 公文書及び公印の管理に関すること。</li> <li>(8) 消防史及び記録統計の編さんに関すること。</li> <li>(9) 儀式及び交際に関すること。</li> <li>(10) 消防年報の作成に関すること。</li> <li>(11) 消防力の整備に関すること。</li> <li>(12) 消防職員の任免、分限、服務、賞罰その他身分に関すること。</li> <li>(13) 消防職員委員会に関すること。</li> <li>(14) 消防機械器具及び消防施設の取得、管理及び処分に関すること。</li> <li>(15) 消防長会に関すること(他の課の所管に係るものを除く)。</li> <li>(16) 本部内の他の課の主管に属しないこと。</li> </ul>
<p>予 防 課</p>	<p>予 防 係</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 危険物の規制に関すること。</li> <li>(2) 危険物施設等の査察計画及び実施に関すること。</li> <li>(3) 危険物施設の違反処理に関すること。</li> <li>(4) 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律(昭和42年法律第149号)第36条第1項各号に規定する設置の許可又は第37条の2第1項に規定する変更の許可の意見書交付に関すること。</li> <li>(5) 予防運動の計画及び調整に関すること。</li> <li>(6) 防災協会の育成指導に関すること。</li> <li>(7) その他危険物等の火災予防に関すること。</li> <li>(8) その他予防課の他の係の所掌に属さない事務の処理に関すること。</li> </ul>
<p>指 導 係</p>	<p>指 導 係</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 建築同意事務に関すること。</li> <li>(2) 防火管理者に関すること。</li> <li>(3) 防火思想の普及宣伝に関すること。</li> <li>(4) 防火対象物等の査察計画及び実施に関すること。</li> <li>(5) 防火対象物の違反処理に関すること。</li> <li>(6) 消防用設備等の指導に関すること。</li> <li>(7) 旅館、ホテルの意見書の交付に関すること。</li> <li>(8) 防災処理の指導に関すること。</li> <li>(9) 消防設備士会の育成指導に関すること。</li> <li>(10) その他火災予防に関すること。</li> </ul>

警 防 係  警 防 課  通 信 係  救 急 課  救 急 係	警 防 係	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 消防機械器具の整備及び管理に関すること。</li> <li>(2) 車両等の燃料管理に関すること。</li> <li>(3) 宗像地区連絡協議会に関すること。</li> <li>(4) 消防相互応援に関すること。</li> <li>(5) 緊急消防援助隊に関すること。</li> <li>(6) 国民保護法に関すること。</li> <li>(7) 各種訓練に関すること。</li> <li>(8) その他警防課の他の係の所掌に属さない事務の処理に関すること。</li> </ul>
	通 信 係	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 消防通信の業務に関すること。</li> <li>(2) 消防通信施設の整備、保守管理及び計画に関すること。</li> <li>(3) 気象観測及び記録に関すること。</li> <li>(4) 通信統計及び通信情報に関すること。</li> <li>(5) 火災警報に関すること。</li> <li>(6) 庁内電話交換に関すること。</li> <li>(7) 救急応需情報に関すること。</li> <li>(8) 共同指令センターの運営に関すること。</li> <li>(9) 消防情報支援システムの管理運営及びデータ管理に関すること。</li> <li>(10) 福岡県防災・行政情報通信ネットワークに関すること。</li> <li>(11) 緊急通報システムに関すること。</li> <li>(12) 火災・災害等速報に関すること。</li> <li>(13) その他通信業務に関すること。</li> </ul>
	救 急 係	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 救急隊及び配置に関すること。</li> <li>(2) 救急資器材の整備及び管理に関すること。</li> <li>(3) 救急に関する行事の企画に関すること。</li> <li>(4) 応急手当等の普及啓発に関すること。</li> <li>(5) 患者等搬送事業者に対する指導及び認定に関すること。</li> <li>(6) 救急病院等医療関係機関との連絡調整に関すること。</li> <li>(7) 救急統計に関すること。</li> <li>(8) メディカルコントロールに関すること。</li> <li>(9) その他救急業務に関すること。</li> </ul>

## 消防署の事務分掌

消 防 署	全 般	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 消防署の庶務に関する事。</li> <li>(2) 文書收受及び整理保存に関する事。</li> <li>(3) 公印の管理に関する事。</li> <li>(4) 職員の勤務及び教養に関する事。</li> <li>(5) 警備隊の配置及び運用に関する事。</li> <li>(6) 災害の警戒及び防ぎよに関する事。</li> <li>(7) 各種訓練に関する事。</li> <li>(8) 災害、救急の調査及び報告並びに統計に関する事。</li> <li>(9) 火災その他災害の原因及び損害の調査に関する事。</li> <li>(10) 自主防災組織に関する事。</li> <li>(11) 各種諸証明に関する事。</li> <li>(12) 各種届出の処理に関する事。</li> <li>(13) 備品の使用管理に関する事。</li> <li>(14) 施設の整備保全及び運用に関する事。</li> <li>(15) 消防署内事務の連絡調整に関する事。</li> </ul>
	予 防 関 係	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 消防法(昭和23年法律第186号)第10条に規定される危険物の仮貯蔵及び仮取扱いの承認に関する事。</li> <li>(2) 危険物製造所等の完成検査、廃止、保安監督者選任(解任)届出、予防規程制定(変更)認可申請及び危険物変更届出に関する事。</li> <li>(3) 少量危険物及び指定可燃物の規制に関する事。</li> <li>(4) 液化石油ガス及び高圧ガスの保安指導に関する事。</li> <li>(5) 危険物施設等及び防火対象物等の査察の実施に関する事。</li> <li>(6) 建築物、工作物等の火災及び人命危険の予防措置に関する事。</li> <li>(7) 防火管理者及び防災管理者に関する事。</li> <li>(8) 防火思想の普及宣伝に関する事。</li> <li>(9) 自衛消防隊の育成指導に関する事。</li> <li>(10) 危険物施設等及び防火対象物等の違反処理に関する事。</li> <li>(11) 消防用設備等の指導に関する事。</li> <li>(12) 催物その他各種届出に関する事。</li> <li>(13) 防災処理の指導に関する事。</li> </ul>

消 防 署	警 防 関 係	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 救助業務及び潜水業務の実施に関する事。</li> <li>(2) 消防水利の計画、調査及び保全に関する事。</li> <li>(3) 機関員等の技術管理に関する事。</li> <li>(4) 消防の警備計画に関する事。</li> <li>(5) 消防団に関する事。</li> </ul>
	救 急 関 係	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 救急業務の計画及び実施に関する事。</li> <li>(2) 応急手当等の普及啓発の実施に関する事。</li> </ul>

協定名	締結年月日	協定市町村等	応援の内容
宗像市・福津市と隣接する市外町との消防相互応援協定	昭和52年10月1日	宗像市、福津市、岡垣町、宮若市、鞍手町	水火災その他の災害
福岡都市圏市町消防相互応援協定	昭和55年3月1日	福岡都市圏内の市町等 9市、8町 5消防組合	火災、救急救助事案その他の災害
遠賀・中間地域広域行政事務組合、直方鞍手広域市町村圏事務組合、宗像地区事務組合常備消防相互応援協定	平成19年4月1日	遠賀・中間地域広域行政事務組合 直方鞍手広域市町村圏事務組合 宗像地区事務組合	火災又は地震等の災害
福岡県消防相互応援協定	平成元年3月25日	福岡県内の全市町村等 60市町村 13消防組合	大規模災害等
高速自動車道における消防相互応援協定	昭和61年10月15日	福岡県内インター所在7市1町10消防組合	全ての災害

## 消防本部の管轄地域

### 福岡県



- |         |        |           |             |         |
|---------|--------|-----------|-------------|---------|
| 1 北九州市  | 6 筑後市  | 11 糸島市    | 16 春日大野城那珂川 | 21 粕屋南部 |
| 2 福岡市   | 7 行橋市  | 12 八女     | 17 田川地区     | 22 宗像地区 |
| 3 大牟田市  | 8 中間市  | 13 筑紫野太宰府 | 18 京築広域     | 23 粕屋北部 |
| 4 久留米広域 | 9 苅田町  | 14 飯塚地区   | 19 直方鞍手広域   | 24 遠賀   |
| 5 直方市   | 10 柳川市 | 15 みやま市   | 20 甘木・朝倉    |         |

## 消防本部の主なできごと

PLAY BACK

平成30年 4月	
11日	<b>第41回福岡県消防職員意見発表会(福岡市)</b> 宗像地区消防本部を代表して「柳谷 友美子」消防士が出場。
5日	<b>消防吏員8人採用。</b> (4月5日から9月19日までの間、消防職員初任教育前期に入校)
25～27日	<b>署内事務監査</b> 消防本部、各署所の事務監査を実施。
5月	
18日	<b>第1回危険物試験準備講習</b>
6月	
	<b><u>危険物安全週間(6月3日～9日)</u></b> 危険物安全週間は、平成2年消防庁により制定され、以来毎年6月の第2週(日曜日から土曜日までの1週間) に各種事業が実施されております。
10日	<b>消防団・消防署合同水防訓練</b> 宗像市牟田尻「玄海地区コミュニティ・センター」で福津市と合同の水害対応訓練を実施。
25・26日	<b>第1回防火管理者新規講習会</b> 学校・店舗・事業所等多数の者が勤務し、居住する防火対象物の関係者を集めて、防火管理者の資格を付与するための講習会を実施。
7月	
1日	<b>広報紙「宗像地区事務組合だより」7月号発行～通巻35号</b>
27日	<b>平成30年7月豪雨により緊急消防援助隊福岡県隊として広島県広島市へ派遣</b> 消防車1台6人を派遣(7月27日から7月30日まで)
8月	
2日	<b>夏の課外授業inむなかた</b> 「めざせ未来の消防士」を実施。18組52人が参加した。
9月	
	<b><u>防災の日(9月1日)</u></b>
8日	<b>宗像市総合防災訓練実施(岬地区)</b> <b><u>救急の日(9月9日)</u></b>
10日～14日	<b>中学生職場体験学習</b> 管内7校の中学生24人を受け入れ、職場体験学習を実施。
10月	
14日	<b>宗像地区消防本部消防吏員採用試験</b>
25・26日	<b>第2回防火管理者新規講習会</b> 学校・店舗・事業所等多数の者が勤務し、居住する防火対象物の関係者を集めて、防火管理者の資格を付与するための講習会を実施。
22・23・25日	<b>署内事務監査</b>

11月	1日	<p>広報紙「宗像地区事務組合だより」11月号発行～通巻36号</p> <p><u>119番の日(11月9日)</u></p> <p><u>秋季火災予防運動(9日～15日)</u></p>
	1日	<p>日の里西小学校職場体験学習 小学生4人を受け入れ、職場体験学習を実施。</p>
	9日	<p>防火パレード(宗像地区消防本部・消防団) 「火の用心」の“のぼり”を掲げた消防車両で管内を防火パレードし、防火を呼びかけた。</p>
	10日	<p>福津市一斉防災訓練(福津市全域)</p>
	11日	<p>第41回消防ママさんバレーボール大会 管内の19チーム226人の選手の参加により、熱戦が繰り広げられ、後日、防火教室と防災講習会を実施した。</p>
	17日	<p>宗像市消防団中継訓練 宗像市大島で宗像市消防団と中継訓練を実施</p>
12月	21日	<p>人命救助事案表彰(2人)</p>
25～1月5日		<p>年末年始特別警戒</p>
平成31年 1月	4日	<p>署内意見発表会</p>
	11日	<p>初期消火事案表彰(2人)</p>
	14日	<p>平成31年消防出初式(イオンモール福津)</p> <p><u>文化財防火デー(1月26日)</u> 1949年1月26日に、現存する世界最古の木造建造物である法隆寺(奈良県斑鳩町)の金堂が炎上したことに因んで制定された記念日。</p>
	24日・25日	<p>文化財防火デーに伴い管内の重要文化財の特別査察を実施。</p>
	25日	<p>文化財防火デーに伴う火災防ぎょ訓練を実施。(宗像大社) 宗像大社自衛消防隊、宗像市消防団及び宗像消防署の計119人が参加し、宗像大社付近一帯で火災防ぎょ訓練を実施。</p>
2月	4日	<p>防火ポスターコンクール 管内の小学4年生を対象に作品を募集。 優秀な作品を春季火災予防運動期間中、市内の公共施設などに展示し火災予防をPRした。</p>
	7日	<p>人命救助事案表彰(3人)</p>
	14日	<p>甲種防火管理再講習を実施 防災設備等の高度化への順応や消防法令の改正の把握など、知識、技能の更新が常に必要であるため、5年ごとに再講習が義務づけられている。</p>
	27日	<p>女子学生等を対象とした職業説明会参加 女子学生向けの消防職業体験イベントにブースエリアとして参加</p>
3月		<p><u>春季火災予防運動(3月1日～7日)</u></p>
	1日	<p>広報紙「宗像地区事務組合だより」3月号発行～通巻37号</p>
	3日	<p>平成30年度 消防団・消防署合同林野火災防ぎょ訓練(福津市奴山「新原・奴山古墳群」)</p>
	17日	<p>火災予防普及啓発活動(イオンモール福津)</p>

職員の階級別定員および実員

(平成31年4月1日現在)

区分	階級	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
定員		1	9	12	129				151
実員		1	9	4	19	46	13	47	139
	(うち女性職員)							5	5

※再任用職員(短時間勤務職員)は含まない。

職員の階級別任用、退職状況

(平成30年度)

区分	階級	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
採用								8	8
昇任		1	4	1	6	4	7		23
退職						3		1	4

職員の配置状況

(平成31年4月1日現在)

区分		階級	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
消防本部	消防長		1							1
	次長			1						1
	消防総務課			1	1	2	4		8	16
	予防課			1	1	1	2			5
	警防課			1		1	1			3
	救急課			1		1	1	1		4
	小計		1	5	2	5	8	1	8	30
消防署	宗像消防署			2	1	6	18	5	21	53
	赤間出張所					2	8	4	4	18
	大島分遣所					1	1			2
	福津消防署			2	1	4	8	2	11	28
	津屋崎・玄海出張所					1	3	1	3	8
	小計			4	2	14	38	12	39	109
合計			1	9	4	19	46	13	47	139

# 職員の階級別年齢

(平成31年4月1日現在)

階級 年齢	消 防 吏 員							計	(人)					
	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士		・ 2	・ 4	・ 6	・ 8	・ 10	
18							1	1	*					
19							1	1	*					
20							5	5	*****					
21							4	4	****					
22							6	6	*****					
23							3	3	***					
24							4	4	****					
25							4	4	****					
26							5	5	*****					
27					1		1	2	**					
28							4	4	****					
29						1	1	2	**					
30							4	4	****					
31					2	1	2	5	*****					
32					2	2	2	6	*****					
33					1			1	*					
34					3	1		4	****					
35					2	3		5	*****					
36					2	3		5	*****					
37														
38					4			4	****					
39					1	3		4	****					
40					2	1		3	***					
41						1		1	*					
42						4		4	****					
43						1		1	*					
44					2	5		7	*****					
45					4	5		9	*****					
46		1			2	4		7	*****					
47		1	1	1				3	***					
48			1	3	2			6	*****					
49			1		1			2	**					
50				1	1			2	**					
51		1		1				2	**					
52		1		1				2	**					
53		1		1				2	**					
54		2					1	3	***					
55														
56		2			1	1		4	****					
57	1		1					2	**					
58														
59														
60														
計	1	9	4	19	46	13	47	139						
平均 歳月	57.0	52.5	50.3	46.5	40.6	37.5	25.5	38.1						

職員の階級別勤続年数

(平成31年4月1日現在)

階級 年数	階級							計	年数		
	消防 監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防 士		0	10	20
0							7	7	*****		
1							8	8	*****		
2							6	6	*****		
3							9	9	*****		
4							2	2	**		
5							1	1	*		
6							3	3	***		
7							3	3	***		
8							7	7	*****		
9					3		1	4	****		
10					1	3		4	****		
11						6		6	*****		
12					3	1		4	****		
13					1	1		2	**		
14					7			7	*****		
15					2			2	**		
16				3	2			5	*****		
17					3			3	***		
18					2			2	**		
19											
20											
21											
22					4			4	****		
23				1	2			3	***		
24		1		1	2			4	****		
25				1	6			7	*****		
26				3	1			4	****		
27			1	4	4			9	*****		
28				1	2			3	***		
29		1	2	2				5	*****		
30		2		1		2		5	*****		
31						2		2	**		
32											
33		1		1				2	**		
34											
35		2		1				3	***		
36											
37											
38	1	2	1		1			5	*****		
39											
40											
41											
<b>計</b>	1	9	4	19	46	13	47	139			
<b>平均</b>	38.0	32.0	30.0	25.0	19.0	13.0	3.0	15.1			

職員の資格(講習)取得状況

(平成31年3月31日現在)

種別	階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
福岡県消防学校	特殊災害科	3		2				5
	予防科(予防査察科)	1		3	3			7
	危険物科	1	1	3	3	1	1	10
	火災調査科			5	2			7
	救急科・救急Ⅱ(標準)課程	8	2	19	47	11	36	123
	救急Ⅰ課程							
	救助科			2	6	1		9
	初級幹部科A	2		3	9			14
	初級幹部科B	5	1	4				10
	中級幹部科	2						2
	上級幹部科	1						1
	水難救助教育					1	4	5
	消防操法指導員研修	5		5	1			11
	はしご自動車等教育	3	1	8	6		1	19
	警防科	1	1	2	1			5
	警防実務研修				4	4	2	10
	陸上特殊無線技士Ⅱ・Ⅲ	8	2	17	27	11		65
福岡県市町村 消防研修所	階級別(一般・係長・課長・他)研修	8	2	8	11	4	2	35
	選択研修	8	1	7	11	1	1	29
その他	指導的救命士	1		2				3
	救急救命士	3		5	16		9	33
	中型自動車免許				9	4	16	29
	大型自動車免許	8	2	15	29	5	2	61
	小型船舶	5	1	13	23	2	2	46
	潜水士	5	2	12	28	2	8	57
	危険物取扱者	2		9	16	8	19	54
	衛生管理者	1	1	1	1			4
	小型移動式クレーン運転技能			5	16	8	5	34
	予防技術資格認定者(防火査察)	3	2	8	18	5	4	40
	予防技術資格認定者(消防用設備等)	1	2	7	9	5	1	25
予防技術資格認定者(危険物)		1		3	2	2	8	

職員の研修状況

(平成30年度)

種別		階級		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計	
		初任教育	危険物科									
福岡県消防学校	初任教育									8	8	
	危険物科							1			1	
	救急科									6	6	
	初級幹部科(A)							1			1	
	初級幹部科(B)						1				1	
	上級幹部科			1								1
	水難救助教育									1	1	
	はしご自動車等教育								1			1
	警防実務研修									1	1	
	救急救命士養成研修									1	1	
	救急救命士就業前病院実習									1	1	
	救急救命士気管挿管病院実習						1				1	
	救急救命士病院実習(再教育)					6	15	1	7		29	
福岡県市町村職員研修所	新任係長研修					1					1	
	新任課長研修											
	クレーム対応研修(組織対応)											
	クレーム対応研修(窓口)											
	法制執務基礎研修						1				1	
	対人関係能力向上研修											
	リーダーシップ能力向上研修											
	消防実務講習会(予防)					1					1	
	福岡県救急医学会救急隊員部会					3	7		3		13	
	日本救急臨床医学会						1				1	
	消防職員安全衛生研修会					1					1	

## 消防大学校の教育状況

平成31年3月31日現在

種 別		階 級	消	消	消	消	消	消	計
			防	防	防	防	防	防	
平成30年度	幹	部	監	司	司	士	士	士	
	部	科		令	令	長	長	士	
					1				1
累	総合教育	幹 部 科	1	2	1				4
	専科教育	警 防 科		1		2			3
		予 防 科			1				1
		救 急 科							
		救 助 科							
		火 災 調 査 科		2		1		3	
計	火 災 調 査 講 習 会								
	は し ご 自 動 車 等 講 習 会			3			1		4
	違 反 是 正 講 習 会								
合 計			1	8	2	3	1		15

## 職員の表彰受賞状況

平成31年3月31日現在

区 分		階 級	消	消	消	消	消	消	計
			防	防	防	防	防	防	
平成	30	年度	監	令	令	長	長	士	
				長	長	士	士	士	
平成 30 年度	消 防 庁 長 官 功 労 章								
	消 防 庁 長 官 永 年 勤 続 功 労 章								
	全 国 消 防 長 会 永 年 勤 続 表 彰			2		1		2	5
	全 国 消 防 協 会 優 良 消 防 職 員 表 彰								
	福 岡 県 知 事 人 命 救 助 功 労 表 彰								
	福 岡 県 知 事 永 年 勤 続 表 彰					2	2		4
累  計	消 防 庁 長 官 功 労 章								
	消 防 庁 長 官 永 年 勤 続 功 労 章								
	全 国 消 防 長 会 永 年 勤 続 表 彰		1	9	4	16	22	2	54
	全 国 消 防 協 会 優 良 消 防 職 員 表 彰			1					1
	福 岡 県 知 事 人 命 救 助 功 労 表 彰								
福 岡 県 知 事 永 年 勤 続 表 彰		1	8	4	13	8	2	36	
合 計 ( 延 べ 人 員 )			2	18	8	29	30	4	91

訓練・指導等の実施状況

(平成30年度)

市別	種別	救急講習	ポンプ操 法指導	規律・小隊 訓練等指導	防火・避難 訓練指導	署所見学	計
	回数	97	106	19	213	30	
合計	回数	97	106	19	213	30	465
	延人数	3,118	2,647	327	21,701	1,986	29,779

職員の教養実施状況

(平成30年度)

教育科目	教養内容	延時間	受講者階級別延人員				
			消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
実務研修教養	初任教育を修了した職員に対する教養	85				360	360
機関員教養	機関員の教養及び現任の機関員に対する教養	547				104	104
服務教養	現任職員に対するその職務についての教養	649	380	1,641	534	2,363	4,918
合計	計	1,281	380	1,641	534	2,827	5,382

# 消防力の状況

## 常備消防の状況

(平成31年4月1日現在)

区 分			車 両 等			人 員			
			算 定 数	現 有 台 数	不 足 数	算 定 数 a	現 有 人 員 b	不足数	充足率 (%)
								対 算 定 a-b	対 算 定 b/a
警 防 要 員	消 防 隊 員	指 揮 車	2	2		18	105	30	77.8
		消 防 ポンプ自動車	6	6		75			
		化 学 消 防 車	1	1		15			
		は し ご 自 動 車	1	1		乗換運用			
		小 型 動 力 ポンプ付 積 載 車	1	1		3			
	救 急 隊 員	救 急 自 動 車	6	5	1	9			
	救 助 隊 員	救 助 工 作 車	2	1	1	15			
小 計			19	17	2	135	105	30	77.8
本 部 要 員	専 任 の 予 防 要 員		/			21	5	※毎日勤務者のみ	
	通 信 員		/			13	2	/	
	庶 務 の 処 理 等 の 人 員		/			20	27		
小 計			/			54	34		
合 計						189	139	50	73.5

※再任用職員除く

面積・人口および世帯数に対する常備消防力

(平成31年4月1日現在)

区 分	消 防 職 員 一 人 当 たり	消 防 ポ ン プ 自 動 車 一 台 当 たり	救 急 自 動 車 一 台 当 たり
人 口 (161,918人)	1,165 人	23,131 人	32,384 人
世 帯 数 (70,007世帯)	504 世帯	10,001 世帯	14,001 世帯
面 積 (172.7Km <sup>2</sup> )	1.24 km <sup>2</sup>	24.67 km <sup>2</sup>	34.54 km <sup>2</sup>

※ 消 防 職 員 139 人  
 消 防 ポ ン プ 車 7 台 (化学車含む)  
 救 急 車 5 台

消防団の現況

(平成31年4月1日現在)

動 力 消 防 ポ ン プ 算 定 数				動 力 消 防 ポ ン プ 整 備 数	
消 防 ポ ン プ 車 数 (台)		手 引 ・ 小 型 動 力 ポ ン プ 数 (口)		消 防 ポ ン プ 車 数 (台)	手 引 ・ 小 型 動 力 ポ ン プ 数 (口)
国	市 町 村	国	市 町 村		
5	28	12	35	28	14

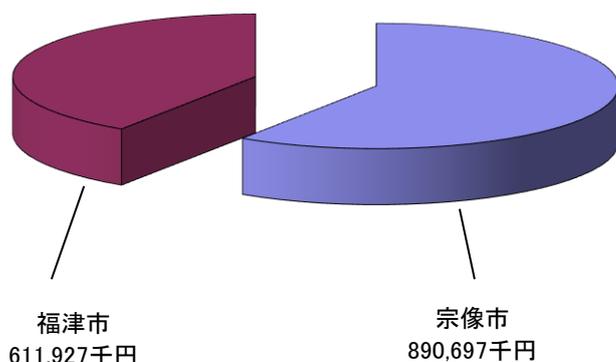
## 財政の状況

平成30年度決算(見込み)における構成市消防負担金 (単位：千円)  
1,502,624千円

(構成市の負担金)

地方交付税法により算定される構成市の当該年度の基準財政需要額のうち消防費の算定方法に準じて算定した額で、常備消防費に相当する額

宗像市 59.3%  
福津市 40.7%



## 過去3年間における消防負担金状況

(単位：千円)

		28年度決算	29年度決算	30年度決算(見込み)
消防費基準財政需要額(A)		2,000,756	2,003,389	1,992,213
消防負担金	宗像市	800,528	832,927	890,697
	福津市	561,277	578,696	611,927
	合計(B)	1,361,805	1,411,623	1,502,624
消防費基準財政需要額に占める消防負担金割合(B/A)		68.1%	70.5%	75.4%

※(参考) 単位費用                      11,300円                      11,300円                      11,300円

平成31年度宗像地区事務組合一般会計当初予算

歳入

(単位：千円)

款	項	当初予算額
1. 分担金及び負担金	1. 負担金	1,836,308
	内 消防負担金	1,660,112
2. 使用料及び手数料	1. 使用料	1,700
	2. 手数料	502
3. 国庫支出金	1. 国庫補助	0
4. 財産収入	1. 財産運用収入	68
5. 繰越金	1. 繰越金	38,500
6. 諸収入	1. 預金利子	1
	2. 雑入	39,236
7. 組合債	1. 組合債	111,000
歳入合計		2,027,315

歳出

(単位：千円)

款	項	当初予算額
1. 議会費	1. 議会費	1,736
2. 総務費	1. 総務管理費	39,805
	2. 監査委員費	502
3. 衛生費	1. 保健衛生費	20,107
	2. 清掃費	126,408
4. 消防費	1. 消防費	1,582,943
5. 公債費	1. 公債費	249,014
6. 予備費	1. 予備費	6,800
歳出合計		2,027,315

平成29年度消防費決算額と一般会計決算額との比較

(単位：千円)

	一般会計決算額	消防費決算額	比較 消防費／一般
宗像市	37,017,813	1,034,046	2.8%
福津市	21,813,472	676,941	3.1%
合計	58,831,285	1,710,987	2.9%

## 平成29年度消防費決算と消防費基準財政需要額

(単位：千円)

区分 市別	消防費基準 財政需要額 (調整後) (A)	決算額			基準財政需要額に 占める決算額の割合 (B/A)
		常備消防費 負担金	非常 消防費	計(B)	
宗像市	1,182,098	832,927	201,136	1,034,063	87.5%
福津市	821,291	578,696	98,257	676,953	82.4%
合計	2,003,389	1,411,623	299,393	1,711,016	85.4%

※ 基準財政需要額＝消防単位費用 × 測定単位(人口) × 補正係数

人口一人当たりの消防費 10,655 円

一世帯当たりの消防費 24,882 円

※ 人口 160,572 人

世帯数 68,764 世帯

(平成30年3月31日現在)



防火対象物の現状

(平成31年3月31日現在)

用途		市 別	宗 像 市	福 津 市	計
(1)	イ 劇場・映画館等		1	1	2
	ロ 公会堂・集会場等		81	55	136
(2)	イ キャバレー・カフェー等				
	ロ 遊技場・ダンスホール等		4	1	5
	ハ 性風俗関連店舗等				
	ニ カラオケボックス等		1		1
(3)	イ 待合・料理店等				
	ロ 飲食店等		58	33	91
(4)	百貨店・マーケット等		102	74	176
(5)	イ 旅館・ホテル等		43	6	49
	ロ 寄宿舍・共同住宅等		809	478	1,287
(6)	イ 病院・診療所等		63	43	106
	ロ グループホーム・有料老人ホーム等		32	26	58
	ハ デイサービス・軽費老人ホーム等		63	41	104
	ニ 幼稚園・特別支援学校		7	8	15
(7)	小学校・中学校等		93	37	130
(8)	図書館・博物館等		4	2	6
(9)	イ 蒸気浴場・熱気浴場等		1		1
	ロ イ以外の公衆浴場等				
(10)	車両の停車場等		2	2	4
(11)	神社・寺院等		79	36	115
(12)	イ 工場・作業場等		157	96	253
	ロ 映画・テレビスタジオ等				
(13)	イ 自動車車庫又は駐車場		21	14	35
	ロ 飛行機等の格納庫		1		1
(14)	倉庫		133	96	229
(15)	前各項以外の事業場		326	183	509
(16)	イ 複合用途対象物(特定)		220	143	363
	ロ イ以外の複合用途(非特定)		122	99	221
(16の2)	地下街				
(16の3)	準地下街				
(17)	重要文化財等		3		3
(18)	50m以上のアーケード				
(19)	指定山林				
(20)	総務省令で定める舟車				
合 計			2,426	1,474	3,900

# 消防用設備等の設置状況

(平成31年3月31日現在)

消防用設備等 用途		消火設備				警報設備			避難設備		連結 送水管	非常 コンセント 設備
		屋内 消火栓 設備	屋外 消火栓 設備	スプリン クラー 設備	水噴霧 消火設 備等	自動火 災報知 設備	漏電火 災警報 器	非常警 報設 備	避難 器具	誘導 灯		
(1)	イ 劇場・映画館等					1		2		1		
	ロ 公会堂・集会場等	7		1	1	37	2	31	10	49		
(2)	イ キャバレー・カフェー等											
	ロ 遊技場・ダンスホール等	1		1	1	5		4	1	5	1	
	ハ 性風俗関連店舗等											
	ニ カラオケボックス等					1			1	1		
(3)	イ 待合・料理店等											
	ロ 飲食店等	1				28	4	35	9	53		
(4)	百貨店・マーケット等	20	1	11	9	98		34	4	107		
(5)	イ 旅館・ホテル等	6		1		46	10	8	18	44	2	1
	ロ 寄宿舍・共同住宅等	37		13	23	251	19	96	182	28	117	47
(6)	イ 病院・診療所等	6		15	1	61	4	15	16	90		
	ロ グループホーム・有料老人ホーム等			60		61	1	4	19	56	1	
	ハ デイサービス・軽費老人ホーム等	8		2	1	73	1	8	18	57		
	ニ 幼稚園・特別支援学校					14	2	3	4	10		
(7)	小学校・中学校等	82				120		39	10	13	1	
(8)	図書館・博物館等	2			1	4		1		2		
(9)	イ 蒸気浴場・熱気浴場等	1				1		1		1		
	ロ イ以外の公衆浴場等											
(10)	車両の停車場等					3						
(11)	神社・寺院等	2				8	4	21	2	5		
(12)	イ 工場・作業場等	18	1		4	78		1	2	11	1	
	ロ 映画・テレビスタジオ等											
(13)	イ 自動車車庫又は駐車場				8	6				2		
	ロ 飛行機等の格納庫				1	1				1		
(14)	倉庫	9				47				3		
(15)	前各項以外の事業場	21			3	70	2	61	8	42	1	
(16)	イ 複合用途対象物(特定)	8		25	8	133	2	53	33	129	8	1
	ロ イ以外の複合用途(非特定)	1			3	23		22	7	15	4	
(16の2)	地下街											
(16の3)	準地下街											
(17)	重要文化財等					3						
合 計		230	2	129	64	1,173	51	439	344	725	136	49

防火管理者を必要とする事業所の状況

(平成31年3月31日現在)

用途		市 別		宗 像 市		福 津 市		計	
		甲	乙	甲	乙	甲	乙		
(1)	イ 劇場・映画館等								
	ロ 公会堂・集会場等	24	54	18	35	42	89		
(2)	イ キャバレー・カフェー等								
	ロ 遊技場・ダンスホール等	4		1		5			
	ハ 性風俗関連店舗等								
	ニ カラオケボックス等	1				1			
(3)	イ 待合・料理店等								
	ロ 飲食店等	19	27	9	15	28	42		
(4)	百貨店・マーケット等	54	8	31	4	85	12		
(5)	イ 旅館・ホテル等	19	1	6		25	1		
	ロ 寄宿舎・共同住宅等	154		96		250			
(6)	イ 病院・診療所等	14		12		26			
	ロ グループホーム・有料老人ホーム等	24		25		49			
	ハ デイサービス・軽費老人ホーム等	25	2	19	7	44	9		
	ニ 幼稚園・特別支援学校	5		4		9			
(7)	小学校・中学校等	24		13		37			
(8)	図書館・博物館等	1		1		2			
(9)	イ 蒸気浴場・熱気浴場等	1				1			
	ロ イ以外の公衆浴場等								
(10)	車両の停車場等								
(11)	神社・寺院等	14	2	8	4	22	6		
(12)	イ 工場・作業場等	8		4		12			
	ロ 映画・テレビスタジオ等								
(13)	イ 自動車車庫又は駐車場								
	ロ 飛行機等の格納庫								
(14)	倉庫			1		1			
(15)	前各項以外の事業場	32	16	16	14	48	30		
(16)	イ 複合用途対象物(特定)	107	18	65	10	172	28		
	ロ イ以外の複合用途(非特定)	21	3	16		37	3		
合 計		551	131	345	89	896	220		

# 防火対象物の予防査察状況

(平成30年度)

市 別 用 途		査 察 対 象 物 数	査 察 数		
			宗 像 市	福 津 市	計
(1)	イ 劇場・映画館等				
	ロ 公会堂・集会場等	17	6	1	7
(2)	イ キャバレー・カフェー等				
	ロ 遊技場・ダンスホール等	4	3		3
	ハ 性風俗関連店舗等				
(3)	ニ カラオケボックス等				
	イ 待合・料理店等				
	ロ 飲食店等		2		2
(4)	百貨店・マーケット等	54	19	10	29
(5)	イ 旅館・ホテル等	50	29	6	35
	ロ 寄宿舍・共同住宅等		1		1
(6)	イ 病院・診療所等	23	15	13	28
	ロ グループホーム・有料老人ホーム等	59	29	26	55
	ハ デイサービス・軽費老人ホーム等	35	11	10	21
	ニ 幼稚園・特別支援学校	7	3	2	5
(7)	小学校・中学校等	2	1		1
(8)	図書館・博物館等		2		2
(9)	イ 蒸気浴場・熱気浴場等	1	1		1
	ロ イ以外の公衆浴場等				
(10)	車両の停車場等				
(11)	神社・寺院等		5		5
(12)	イ 工場・作業場等	1		2	2
	ロ 映画・テレビスタジオ等				
(13)	イ 自動車車庫又は駐車場				
	ロ 飛行機等の格納庫				
(14)	倉庫	2	1	3	4
(15)	前各項以外の事業場		2		2
(16)	イ 複合用途対象物(特定)	73	36	17	53
	ロ イ以外の複合用途(非特定)	1	1	1	2
(16の2)	地下街				
(16の3)	準地下街				
(17)	重要文化財等	2	3		3
合 計		331	170	91	261

建築同意事務処理状況

(平成30年度)

用途		市 別		計
		宗 像 市	福 津 市	
(1)	イ 劇場・映画館等			
	ロ 公会堂・集会場等		4	4
(2)	イ キャバレー・カフェー等			
	ロ 遊技場・ダンスホール等			
	ハ 性風俗関連店舗等			
	ニ カラオケボックス等			
(3)	イ 待合・料理店等			
	ロ 飲食店等	4	3	7
(4)	百貨店・マーケット等	6	1	7
(5)	イ 旅館・ホテル等		1	1
	ロ 寄宿舍・共同住宅等	12	18	30
(6)	イ 病院・診療所等	1	3	4
	ロ グループホーム・有料老人ホーム等	1		1
	ハ デイサービス・軽費老人ホーム等	9	5	14
	ニ 幼稚園・特別支援学校			
(7)	小学校・中学校等	1	2	3
(8)	図書館・博物館等			
(9)	イ 蒸気浴場・熱気浴場等			
	ロ イ以外の公衆浴場等			
(10)	車両の停車場等			
(11)	神社・寺院等	2		2
(12)	イ 工場・作業場等	3		3
	ロ 映画・テレビスタジオ等			
(13)	イ 自動車車庫又は駐車場	1	1	2
	ロ 飛行機等の格納庫			
(14)	倉庫	2	2	4
(15)	前各項以外の事業場	12	13	25
(16)	イ 複合用途対象物(特定)	3	7	10
	ロ イ以外の複合用途(非特定)	2	5	7
(16の2)	地下街			
(16の3)	準地下街			
(17)	重要文化財等			
	令 別 表 外	39	47	86
合 計		98	112	210

# 中高層建築物（5階以上）の現状

（平成31年3月31日現在）

市別	階別	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	計
宗像市		97	31	24	15	7	8	9	4	4	6	2	207
福津市		25	9	8	5	4	11	9	11	1	3	1	87
合計		122	40	32	20	11	19	18	15	5	9	3	294

用途	階別	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	計
(1) イ 劇場・映画館等													
□ 公会堂・集会場等		1											1
(2) イ キャバレー等													
□ 遊技場等				1									1
ハ 性風俗関連店舗等													
ニ カラオケボックス等													
(3) イ 待合・料理店等													
□ 飲食店等													
(4) 百貨店・店舗等		1											1
(5) イ 旅館・ホテル等		3	1				1			1			6
□ 寄宿舍・共同住宅等		103	22	21	14	9	15	17	15	4	8	3	231
(6) イ 病院・診療所等		1											1
□ グループホーム・有料老人ホーム等			1			1							2
ハ デイサービス・軽費老人ホーム等			1										1
ニ 幼稚園・特別支援学校													
(7) 小学校・中学校等		2	1										3
(8) 図書館・博物館等													
(9) イ 蒸気・熱気浴場等													
□ イ以外の公衆浴場等													
(10) 車両の停車場等													
(11) 神社・寺院等													
(12) イ 工場・作業場等		1											1
□ 映画・スタジオ等													
(13) イ 自動車車庫又は駐車場													
□ 飛行機等の格納庫													
(14) 倉庫													
(15) 前各項以外の事業場		1		1	1								3
(16) イ 複合用途対象物		5	12	3	5		1	1					27
□ イ以外の複合用途(非特定)		4	2	6		1	2				1		16
(17) 重要文化財等													
合計		122	40	32	20	11	19	18	15	5	9	3	294

工事整備対象設備等着工届事務処理状況

(平成30年度)

区 分	市 別	宗 像 市	福 津 市	計
屋内消火栓設備		3	1	4
スプリンクラー設備		5	6	11
泡消火設備				
粉末消火設備				
屋外消火栓設備				
自動火災報知設備		63	34	97
消防機関へ通報する火災報知設備		23	12	35
避難器具		3	5	8
パッケージ型消火設備		2	4	6
合 計		99	62	161

法令に基づく届出処理状況

(平成30年度)

区 分	市 別	宗 像 市	福 津 市	計
防火管理者選任・解任届出		186	205	391
消防計画の届出		196	217	413
防火対象物使用開始届出		118	147	265
変電設備設置届出		8	5	13
発電設備設置届出		7		7
蓄電池設備設置届出		11	6	17
ネオン管設備設置届出				
催物開催届出		1	4	5
ボイラー設置届出		4		4
圧縮アセチレン等の貯蔵又は取扱いの開始届出		27	20	47
少量危険物設置届出		10	7	17
水素ガスを充てんする気球設置届出				
合 計		568	611	1,179

## 危険物施設の現況

(平成31年3月31日現在)

製造所等の区分		市別		計
		宗像市	福津市	
貯蔵所	危険物屋内貯蔵所	6	3	9
	危険物屋外貯蔵所	2	2	4
	危険物屋内タンク貯蔵所	2	2	4
	危険物屋外タンク貯蔵所	10	3	13
	危険物地下タンク貯蔵所	28	20	48
	危険物簡易タンク貯蔵所		1	1
	危険物移動タンク貯蔵所	21	1	22
取扱所	危険物給油取扱所	37	15	52
	危険物一般取扱所	12	7	19
	危険物販売取扱所	1		1
合計		119	54	173

## 危険物施設立入検査実施状況

(平成30年度)

製造所等の区分		市別		計
		宗像市	福津市	
貯蔵所	危険物屋内貯蔵所	4		4
	危険物屋外貯蔵所			
	危険物屋内タンク貯蔵所		1	1
	危険物屋外タンク貯蔵所	6		6
	危険物地下タンク貯蔵所	14	6	20
	危険物簡易タンク貯蔵所		1	1
	危険物移動タンク貯蔵所	20	1	21
取扱所	危険物給油取扱所	30	12	42
	危険物一般取扱所	6	3	9
	危険物販売取扱所			
合計		80	24	104

危険物規制事務処理状況

(平成30年度)

事務別		市 別		計	
		宗 像 市	福 津 市		
許 可 ・ 認 可	小 計		34	28	62
	設 置	許 可	1	2	3
		完 成	1	2	3
	変 更	許 可	11	7	18
		完 成	11	9	20
	仮 使 用		8	7	15
	仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱			1	1
	予 防 規 程		2		2
	前 完 成 検 査 検 査	水 張			
		水 圧			
届 出	小 計		32	14	46
	変 更		13	5	18
	種 類 数 量 変 更		2		2
	譲 渡 ・ 引 渡				
	廃 止		4	3	7
	使 用 休 止 再 開			1	1
	保 安 監 督 者 選 解 任		11	5	16
	事 故 発 生		2		2
	許 可 証 等 再 交 付				
	申 請 取 り 下 げ				

# 宗像地区防災協会

防災体制の強化推進及び会員相互の融和と協調をはかり、災害の防止に努め、もって事業所の健全な発展と社会公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。

平成30年度 会長 葦津 幹之  
 副会長 原口 幸聖  
 副会長 後藤 克也  
 副会長 高島 亮一  
 会員数145事業所  
 (平成31年3月31日現在)

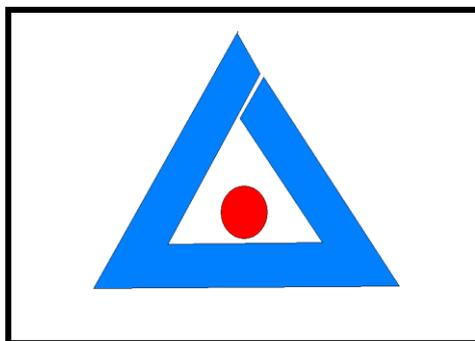
## 防災協会の組織

宿泊施設部会

塗料販売部会

LPガス販売部会

石油販売部会



赤い円は、太陽・火災等を意味し、災害を防ぐように「ム」の字が回りを囲んでいる。  
 また、円を中心よりわずか下方へずらすことによって人の頭を意味し「ム」は災害をシャットアウトしようとする「手」を意味する。

工場部会

病院等部会

大型店舗部会

事業所部会

特別会員部会



危険物取扱者試験受験準備講習会



会員研修会

## 防災協会の主な活動

- 危険物取扱者試験受験準備講習会 (5月、9月、1月)
- 会員研修会(5月、11月)
- 定例総会(6月)
- 会報「防災むなかた」発刊(8月、1月)
- 火災予防運動期間中の火災予防啓発活動  
防火横断幕の掲示、防火チラシ配布 (11月・3月)
- 幼年消防クラブへの防火ハッピー贈呈(3月)

3月



幼年消防クラブへの防火ハッピー贈呈



火災予防啓発活動

6月



定例総会

## 宗像地区幼少年婦人防火委員会

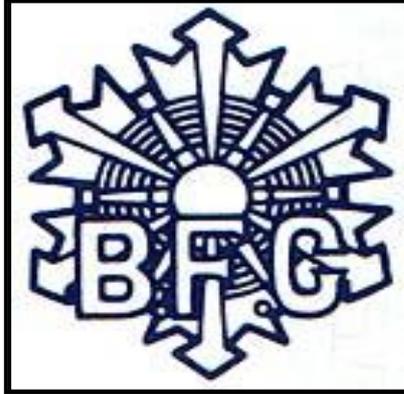
防災防火意識の高揚を図り、防火知識の普及に努めるため、民間の防火組織として地域に密着した幼年消防クラブ・少年消防クラブ・婦人防火クラブ、あるいは地域の自主防災組織の運営指導について、研究及び助言するとともにクラブの健全な育成発展に寄与することを目的とする。

### 幼 年 消 防 ク ラ ブ

幼稚園、保育園の園児で結成され、正しい火の取り扱い方などについて、園独自の指導計画を立て、自主的に活動するとともに防災行事に積極的に参加しています。

### 少 年 消 防 ク ラ ブ

少年のころから学校や家庭における火災予防に関する知識を身につけさせるために結成され、防火夜回り等の防災行事に積極的に参加し、活発な活動を行っています。



少年消防クラブ員章

### 婦 人 防 火 ク ラ ブ

防災は「わが家から」を合言葉に、家庭の主婦で結成され、防火教室や救命講習会を開催し、家庭や地域の災害予防に積極的に活躍しています。

11月



第42回消防ママさんバレーボール大会



少年消防クラブ防火教室

11月

### 30年度の主な行事

- 第42回消防ママさんバレーボール大会(11月)
- 少年消防クラブ防火教室(11月)
- 少年消防クラブ防火書道
- 福津市女性防火クラブ役員研修会「防災講話」(3月)
- 火災予防運動期間中に防火ハッピー着用(11月・3月)

3月



幼年消防クラブ防火ハッピー着用



福津市女性防火クラブ役員研修会

3月



少年消防クラブ防火書道

# 防火団体構成表

(平成31年4月1日現在)

区分	市別	名称	設立年月日	クラブ員数
婦人	宗像地区	宗像地区婦人防火クラブ	S63.11.27	220
	福津市	福津市女性防火クラブ	H19. 5. 1	110
	小計			330
少年	宗像地区	岬地区少年消防クラブ	S59. 4.22	39
	小計			39
幼年	宗像市	博多のびっこ幼稚園幼年消防クラブ	S59.11.15	285
		日の里幼稚園幼年消防クラブ	S59.11.20	220
		赤間くるみ幼稚園幼年消防クラブ	S61.10.30	232
		浄徳寺幼稚園幼年消防クラブ	S63.10. 1	270
		東海大学付属自由ヶ丘幼稚園幼年消防クラブ	S63.10. 1	219
	福津市	白菊幼稚園幼年消防クラブ	S59.11.14	375
		聖愛幼稚園幼年消防クラブ	S59.11.14	206
		光明幼稚園幼年消防クラブ	S59.11.15	175
		神興幼稚園幼年消防クラブ	S59.11.21	84
		若木台幼稚園幼年消防クラブ	S61.11.12	230
		孝明保育園幼年消防クラブ	H 2. 1.10	45
		津屋崎保育園幼年消防クラブ	H 2. 1.11	138
		大和保育所幼年消防クラブ	H 2. 2. 5	138
		真愛保育園幼年消防クラブ	H 2. 6. 1	104
		双葉保育所幼年消防クラブ	H25. 4. 1	143
		ひがしふくま真愛保育園幼年消防クラブ	H 3. 9.20	86
		いろどり真愛保育園幼年消防クラブ	H23. 4. 1	161
		こうみょうの丘幼年消防クラブ	H28. 4. 1	129
		いくみ保育園幼年消防クラブ	H30.12.26	26
		小計		
合計			3,635	

現有車両の諸性能

(平成31年4月1日現在)

区分 車名	車種	型式	ポンプ形式	級式	無線局	登録年月日	備考
タンク1	水槽付消防ポンプ自動車	日野 BDG-GD7JGWA改	日本機械 R-3	A2	有	H23.2.22	水 2,000ℓ(Ⅱ型) 【緊援隊登録】
ポンプ2	消防ポンプ自動車	日野 KK-XZU331M	日本機械 R-3	A2	有	H14.1.25	(CD-Ⅰ型)
タンク3	水槽付消防ポンプ自動車	日野 KC-FD1JGBA	日本機械 R-3	A2	有	H9.10.28	水 1,300ℓ(Ⅱ型)
ポンプ4	消防ポンプ自動車	日野 TPG-XZU640M	モリタ MZI	A2	有	H29.12.4	圧縮空気泡消火装置搭載型 水600ℓ(CD-Ⅰ型)
タンク5	水槽付消防ポンプ自動車	日野 KK-FD1JGDA改	モリタ ME-5	A2	有	H14.12.16	水 1,500ℓ(Ⅰ-A型)
ポンプ6	消防ポンプ自動車	日野 TPG-XZU640M	モリタ MZI	A2	有	H29.12.4	圧縮空気泡消火装置搭載型 水600ℓ(CD-Ⅰ型)
タンク7	水槽付消防ポンプ自動車	いすゞ PB-FRS35G3J改	モリタ ME-5	A2	有	H18.12.13	4WD 水 1,500ℓ(Ⅰ-A型) 【緊援隊登録】
ポンプ8	小型動力ポンプ付積載車	ダイハツ EBD-S331W	トーハツ VF53AS	B3	有	H26.12.22	4WD
ポンプ9	消防ポンプ自動車	三菱 KC-FE538B改	モリタ ME-3A	A2	有	H7.12.6	(CD-Ⅰ型)
化学1	化学消防ポンプ自動車	日野 SDG-GD7JGAA改	モリタ ME-5	A2	有	H28.1.15	水 1,500ℓ 薬液 500ℓ(Ⅱ型)
梯子1	はしご付消防ポンプ自動車	日野 QDG-PR1APEF			有	H28.10.21	30m 屈折梯子付
救助1	救助工作車	日野 2KG-GX2ABA			有	H30.12.26	4WD(Ⅱ型) 【緊援隊登録】
救急1	高規格救急自動車	トヨタ CBF-TRH226S			有	H28.3.17	4WD
救急2	高規格救急自動車	トヨタ CBF-TRH226S			有	H26.12.10	4WD
救急3	高規格救急自動車	トヨタ CBF-TRH226S			有	H31.3.4	4WD 【緊援隊登録】
救急4	高規格救急自動車	トヨタ CBF-TRH226S			有	H24.9.21	4WD
救急5	高規格救急自動車	トヨタ CBF-TRH226S			有	H26.1.23	4WD
救急6	高規格救急自動車	トヨタ CBF-TRH226S			有	H21.12.4	4WD
指令1	指令車	ニッサン DBA-NT32			有	H31.1.17	4WD
指揮1	指揮車	トヨタ CBF-TRH226S			有	H30.2.2	ストレッチャー式指揮機 4WD
乗用車	乗用車	ニッサン DAA-HC27			無	H30.10.23	
査察車	査察車	スズキ HBD-DA17V			無	H29.6.23	4WD
輸送1	人員輸送車	トヨタ SDG-XZB50			有	H25.2.21	乗車定員29人 【緊援隊登録】
支援1	支援車	ニッサン DBA-NT31			有	H26.2.24	4WD
支援2	支援車	トヨタ CBF-TRH200V			無	H29.12.5	
搬送1	資機材搬送車	トヨタ KK-XZU362			有	H15.8.29	4WD
事務連絡車1	事務連絡車	ニッサン DBA-Y12			無	H27.8.26	
事務連絡車2	事務連絡車	トヨタ E-JZS131			無	H7.4.24	
軽1	事務連絡車	三菱 GD-H42V			無	H11.5.17	

## いろいろな消防ポンプ自動車

### 圧縮空気泡消火装置搭載型 消防ポンプ自動車



圧縮空気を利用し泡を生成する装置及び水600ℓを積載しており、少量の水で効率の良い泡消火を行います。

### 化学消防ポンプ自動車



主に油脂火災の消火活動を目的にした消防車で、1,500ℓの水と500ℓの泡消火薬剤を積載しています。

### はしご付消防ポンプ自動車



主に高所での消防活動を容易にするための車両で、火災時等ビルの高層階に取り残された人の救出や高所からの放水活動等を行います。(30m屈折梯子付き)

### 指揮自動車



ストレッチャー式指揮機、ノートパソコン、プリンターなど、数多くの資機材を積載しており、迅速で効率の良い指揮活動が可能となります。

救 助 工 作 車



火災救急等各種の災害現場で救助活動を目的にした消防車で、空気呼吸器やレスキューカッター・照明装置など各種救助資機材を積載しています。

消防車両等の配置状況

(平成31年4月1日)

区分	本部・署所別	本 部	宗 像 署	赤間出張所	福 津 署	津屋崎・玄海出張所	大島分遣所	合計
消 防 ポ ン プ 自 動 車			2	1	1			4
水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車			1	1	1	1		4
化 学 消 防 ポ ン プ 自 動 車			1					1
は し ご 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車			1					1
救 助 工 作 車			1					1
高 規 格 救 急 自 動 車			3	1	1	1		6
指 令 車					1			1
指 揮 車			1					1
小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車							1	1
乗 用 車		1						1
査 察 車		1						1
事 務 連 絡 車		2			1			3
人 員 輸 送 車			1					1
支 援 車			2					2
資 機 材 搬 送 車			1					1
合 計		4	14	3	5	2	1	29

## いろいろな救助資機材

### 空気呼吸器



各種災害現場で、煙、有毒ガス、酸素欠乏環境から消防隊員を保護する「空気呼吸器」は、消防活動に欠かすことのできない重要な資機材です。

### 大型油圧式救助器具



バッテリー式の電動油圧救助器具で、持ち上げ、広げ、押さえつけ、引っ張り、締めつけ、切断の操作ができ、交通事故などの人命救助活動に使用されています。

### マット型空気ジャッキ



空気ポンプ、ホース、マット等を用いて、重量物の持ち上げや変形したドアの開放などに使用されます。

### エンジンカッター



ガソリン駆動式のパワーカッターで、ブレードを交換することにより、鉄、木材、ガラス等、多様な素材を素早く切断することができる万能型器具です。

### 救命索発射銃



高所、水面などの孤立した場所へロープを展張したり、溺れている人に対して着水後に膨張浮上する救命用浮環を投入するためのもので、救命索のついた発射体を発射する特殊な銃です。

### 携帯型CAFS消火システム



CAFS(圧縮空気泡)機能及びミスト噴霧消火機能を備えた携帯型の消火装置で、様々な種類の火災に対応しており、火災を初期の段階で一気に制圧します。

### 救助資機材の配置状況

(平成31年4月1日現在)

区分	署所別	宗像署	赤間出張所	福津署	津屋崎・玄海出張所	大島分遣所	合計
		一般救助器具	三連はしご	4		1	1
	救命索発射銃	1					1
重量物排除用器具	可搬ウインチ	2					2
	マット型空気ジャッキ	1		1			2
	大型油圧スプレッダー	1		1			2
切断用器具	エンジンカッター	3		1			4
	酸素溶断機	1					1
	チェーンソー	6	1	2	1	1	11
	空気鋸	1		1			2
	大型油圧切断機	1		1			2
検知・測定用器具	可燃性ガス測定器	2	1	1	1	1	6
	有毒ガス測定器	1					1
	放射線測定器	4					4
呼吸保護用器具	空気呼吸器	21	5	6	3	1	36
	送排風機	1					1
破壊用器具	削岩機	2					2
検索用器具	熱画像直視装置	1					1
水難救助用器具	潜水用具一式	10					10
	水中テレビカメラ	1					1

### 消防水利の現況

(平成31年4月1日現在)

水利区分 市別	消火栓	防 火 水 槽					合 計
		小 計	100t以上	60t以上100t未満	40t以上60t未満	40t未満	
宗 像 市	946	442	27	149	247	19	1,388
福 津 市	760	273	8	181	58	26	1,033
計	1,706	715	35	330	305	45	2,421

## いろいろな救急資器材

### 酸素吸入器



低酸素状態の傷病者等に対して酸素を与えることができます。

### 電動吸引器



傷病者の口腔内または鼻腔内の嘔吐物や血液などを吸引することができます。

### 気道確保器具



救急救命士が、心肺機能停止状態の傷病者に対して、医師の具体的指示を受けて、使用する気道確保器具で、口から肺までの空気の通り道を確認することができます。

### 監視モニター(患者監視装置)



傷病者の心電図や心拍数、血圧、血液中の酸素飽和濃度を測定し、傷病者の状態を継続的に観察することができます。

### 脊椎固定具



交通事故などにより、脊椎損傷の可能性がある傷病者に対して、全身を固定することにより脊椎の動揺を防ぐことができます。

### 自動体外式除細動器(AED)



高性能の心電図自動解析装置を内蔵しており、心臓が停止状態の傷病者に対して、効果的な電気ショックを与えることができます。

救急資器材の配置状況

(平成31年4月1日現在)

区分	署所別	宗 像 署	福 津 署	赤間出張所	津屋崎・ 玄海出張所	合 計
外 傷 バ ッ グ		3	1	1	1	6
手 動 式 人 工 呼 吸 器		3	1	1	1	6
人 工 呼 吸 器		3	1	1	1	6
減 圧 式 固 定 具		3	1	1	1	6
C P R ボ ー ド		2	1	1	1	5
はさみ(レスキューシーザー)		3	1	1	1	6
喉 頭 鏡・マギール 鉗 子		3	1	1	1	6
自 動 式 心 肺 蘇 生 器		2	1	1	1	5
頸 椎 固 定 具(ファークケット)		3	1	1	1	6
頸 椎 固 定 具(ヘッドイモビライザー)		3	1	1	1	6
骨 盤 固 定 ス リ ン グ(サムスリング)		3	1	1	1	6
電 動 吸 引 器 一 式		3	1	1	1	6
ド ア オ ー プ ナ ー		3	1	1	1	6
聴 診 器		1	1	1	1	4
ウ イ ン ド ポ ン チ		3	1	1	1	6
ボ ル ト ク リ ッ パ ー		3	1	1	1	6
患 者 監 視 装 置		3	1	1	1	6
血 糖 測 定 器		3	1	1	1	6
シ ョ ッ ク パ ン ツ		3	1	1	1	6
血 圧 計(携帯用アネロイド)		3	1	1	1	6
レ ス キ ュ ー セ ッ ト		3	1	1	1	6
AED(自動体外式除細動器)		3	1	1	1	6
バ ッ ク ボ ー ド 一 式		3	1	1	1	6
携 帯 用 酸 素 飽 和 度 測 定 器		3	1	1	1	6
ス ク ー プ ス ト レ ッ チ ャ ー		3	1	1	1	6
カ ー デ ィ オ ポ ン プ		2	1	1	1	5

## 平成30年中の火災概況

### 1 出火件数

平成30年中の出火件数は36件であり、前年に比べ11件減少している。

火災種別ごとの件数をみると、「建物火災」が17件と最も多く、出火件数の47.2%を占め、「その他の火災」16件（44.4%）、「車両火災」2件（5.6%）、「林野火災」が1件（2.8%）となっている。

これらの出火件数を前年と比べると、「建物火災」が5件減少、「林野火災」が1件増加、「車両火災」が3件減少、「その他の火災」が4件減少となっている。

### 2 火災の損害・死傷者の状況

平成30年中の建物焼損棟数は27棟で、前年に比べ5棟減少している。焼損床面積については、1,706平方メートルで、前年に比べ516平方メートル増加している。また、焼損表面積は3平方メートルで、前年に比べ2平方メートル増加している。

平成30年中の火災による損害額は、124,164千円で、前年に比べ7,581千円増加している。

平成30年中の火災による死傷者数は、死者については0人、負傷者については6人で、前年と比べ死者は1人減少、負傷者は1人増加している。

### 3 出火原因

平成30年中の出火件数36件のうち、出火原因については、「不明・調査中」4件を除くと、「たき火」、「その他」がそれぞれ7件（19.4%）で上位を占めている。

「たき火」が原因による火災は前年と比べ5件減少し、前年の原因別出火件数の上位に入っていた「その他」は2件増加し7件となっている。

### 4 住宅用火災警報器

平成18年6月に新築住宅、平成21年6月から既存住宅にも住宅用火災警報器の設置が義務付けられ、宗像地区での設置率は67.2%（平成30年5月現在）となっている。

平成23年から平成30年までの住宅用火災警報器の奏功事例は15件あり、一定の効果をあげており、設置から10年以上経過している場合は住宅用火災警報器の交換を推奨し、日常の点検のしかたについても広報を行っている。

## 災害時覚書締結状況

大規模災害発生時における燃料の優先供給に関する覚書

被締結者 4 者 7 給油所

災害時における消防用水の確保に関する覚書

被締結者 4 者 3 事業所

火災の状況

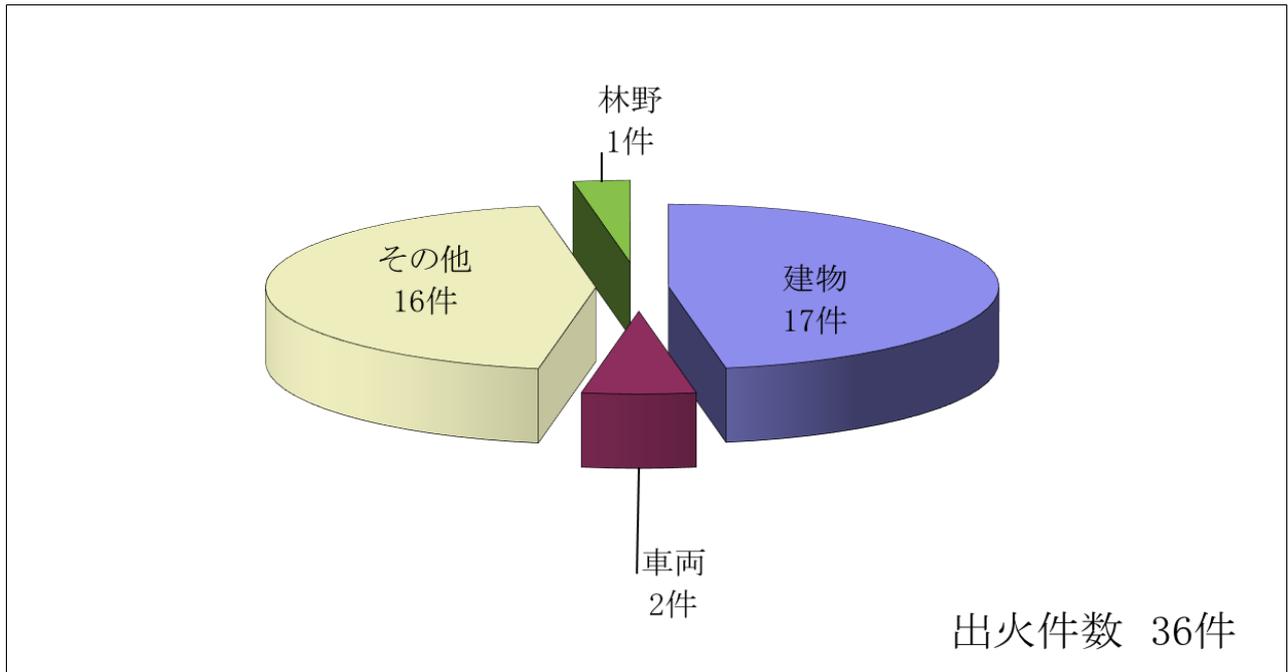
(過去2年間)

区 分		平成30年	平成29年	対前年比	
出 火 件 数	件	36	47	△ 11	
	建物火災	17	22	△ 5	
	林野火災	1		1	
	車両火災	2	5	△ 3	
	船舶火災				
	航空機火災				
	その他の火災	16	20	△ 4	
焼 損 棟 数	棟	27	32	△ 5	
	全 焼	10	15	△ 5	
	半 焼	1	4	△ 3	
	部 分 焼	2	2		
	ぼ や	14	11	3	
焼損床面積(建物)	m <sup>2</sup>	1,706	1,190	516	
焼損表面積(建物)	m <sup>2</sup>	3	1	2	
焼損面積(林野)	a	1		1	
死 者 数	人		1	△ 1	
負 傷 者 数	人	6	5	1	
り 災 世 帯 数	世帯	15	16	△ 1	
	全 損	4	7	△ 3	
	半 損		2	△ 2	
	小 損	11	7	4	
り 災 人 員 数	人	41	40	1	
損 害 額	千円	124,164	116,583	7,581	
	建物火災	123,881	111,832	12,049	
	林野火災				
	車両火災	247	2,408	△ 2,161	
	船舶火災				
	航空機火災				
	その他の火災	36	2,343	△ 2,307	
全火災1件当り損害額	千円	3,449	2,480	969	
建物火災 1件当り	損害額	千円	7,287	5,083	2,204
	建物焼損面積	m <sup>2</sup>	100.4	54.1	46.3
	焼損棟数	棟	1.6	1.5	0.1
	り災世帯	世帯	0.9	0.7	0.2
	り災人員	人	2.4	1.8	0.6
出 火 率	件	2.22	2.93	△ 0.71	
人 口	人	161,834	160,366	1,468	

(注) 出火率は、人口1万人当りの出火件数(人口は平成30年12月31日現在の住民基本台帳による)

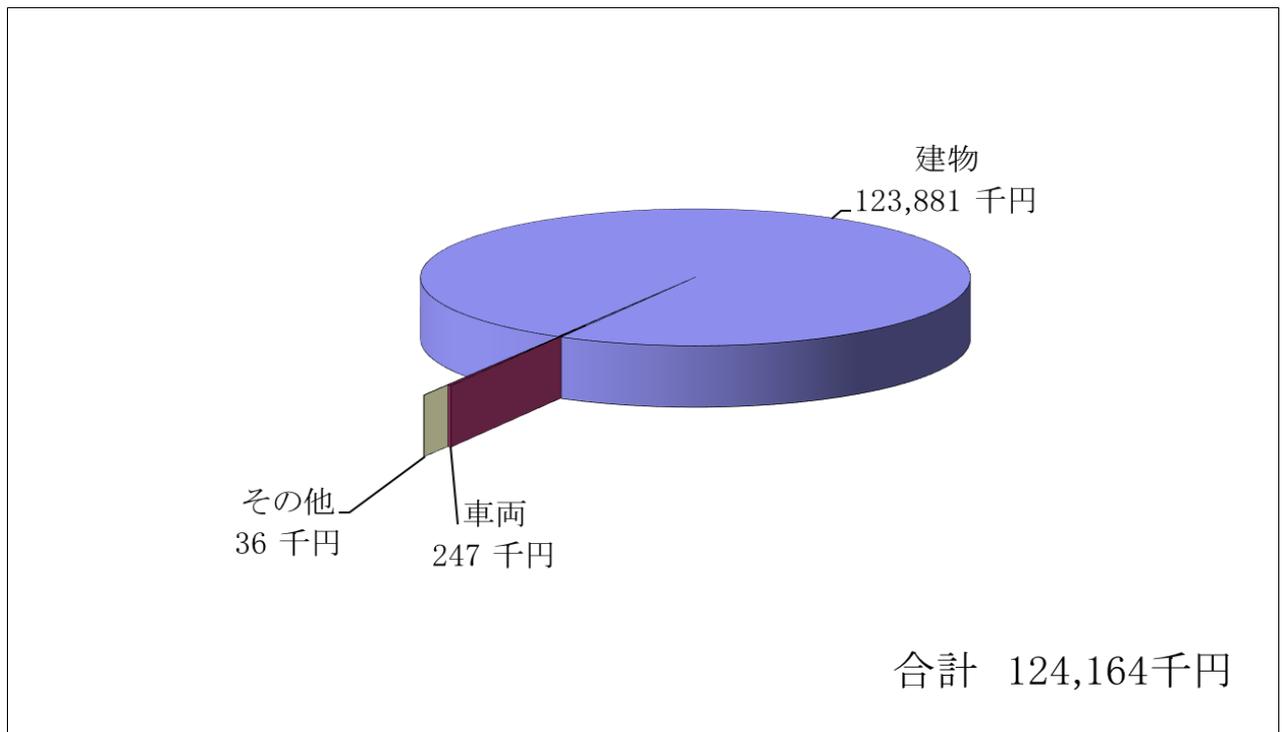
# 火災種別件数

(平成30年中)



# 火災種別損害額

(平成30年中)



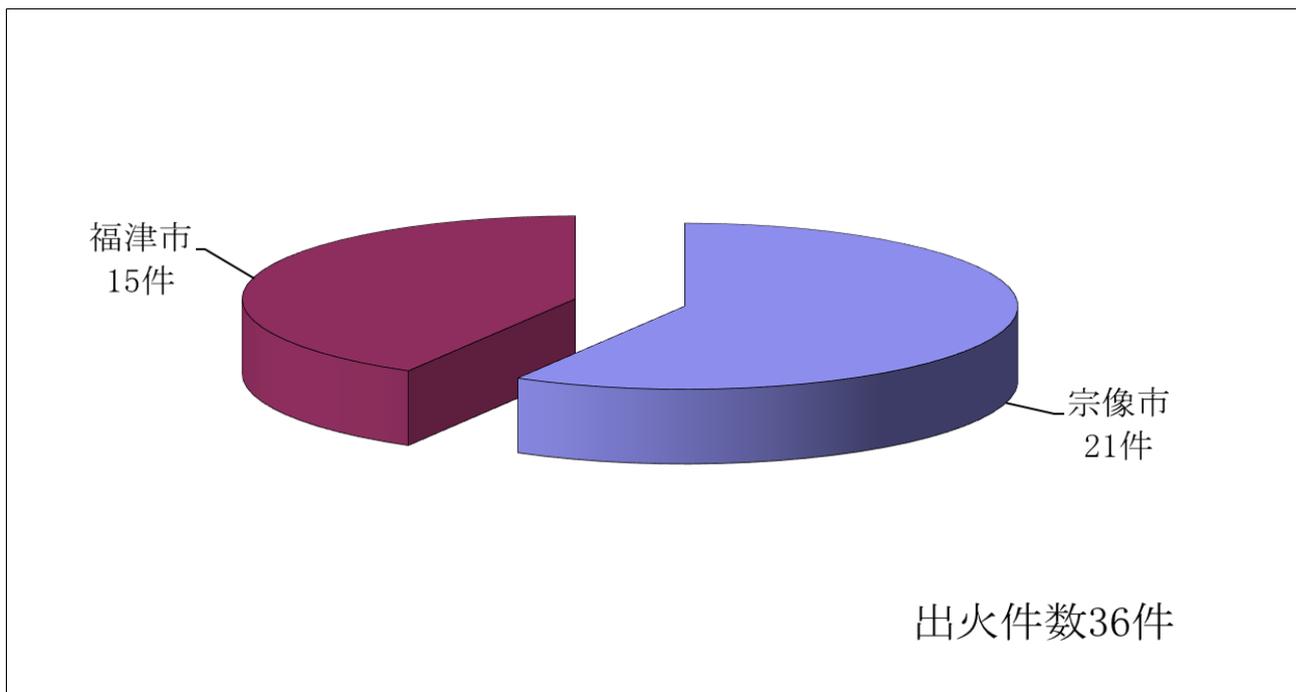
# 宗像市内の火災状況

(平成30年中)

区分	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
出火件数	件		1	4	3	1		1	2	1	5	3		21
建物火災	件		1	1	1	1				1	4	2		11
林野火災	件				1									1
車両火災	件			2										2
船舶火災	件													
航空機火災	件													
その他の火災	件			1	1			1	2		1	1		7
焼損棟数	棟		1	3	1	1				1	5	5		17
全焼	棟			2							3	4		9
半焼	棟					1								1
部分焼	棟											1		1
ぼや	棟		1	1	1					1	2			6
焼損床面積(建物)	m <sup>2</sup>			35		36					535	333		939
焼損表面積(建物)	m <sup>2</sup>											1		1
焼損面積(林野)	a				1									1
死者数	人													
建物火災	人													
建物火災以外	人													
負傷者数	人			1							3			4
建物火災	人			1							3			4
建物火災以外	人													
損害額	千円		15	1,989	32	3,290				32	52,214	56,633		114,205
建物火災	千円		15	1,742	29	3,290				32	52,212	56,633		113,953
林野火災	千円													
車両火災	千円			247										247
船舶火災	千円													
航空機火災	千円													
その他の火災	千円				3						2			5
り災世帯数	世帯			1	1	1				1	4	1		9
全損	世帯					1					2	1		4
半損	世帯													
小損	世帯			1	1					1	2			5
り災人員	人			3	4	3				2	11	2		25

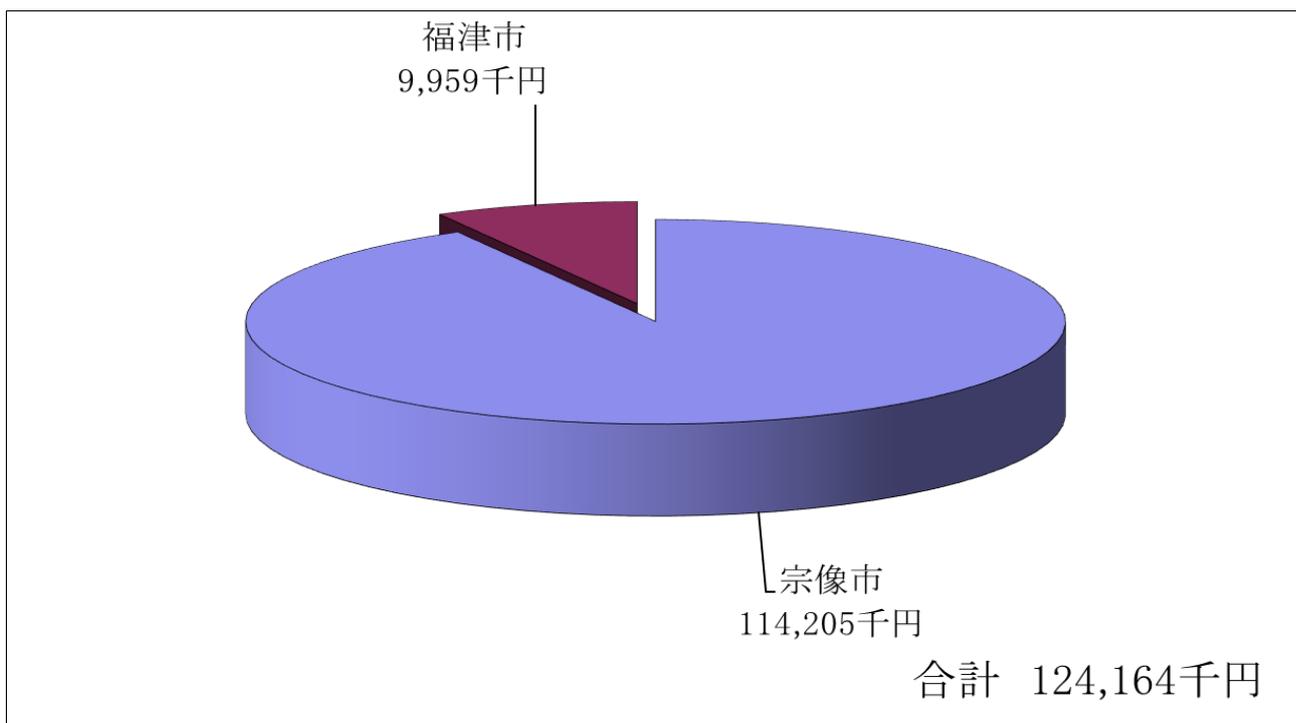
### 市別出火件数

(平成30年中)



### 市別損害額

(平成30年中)



福津市内の火災状況

警防・救急

(平成30年中)

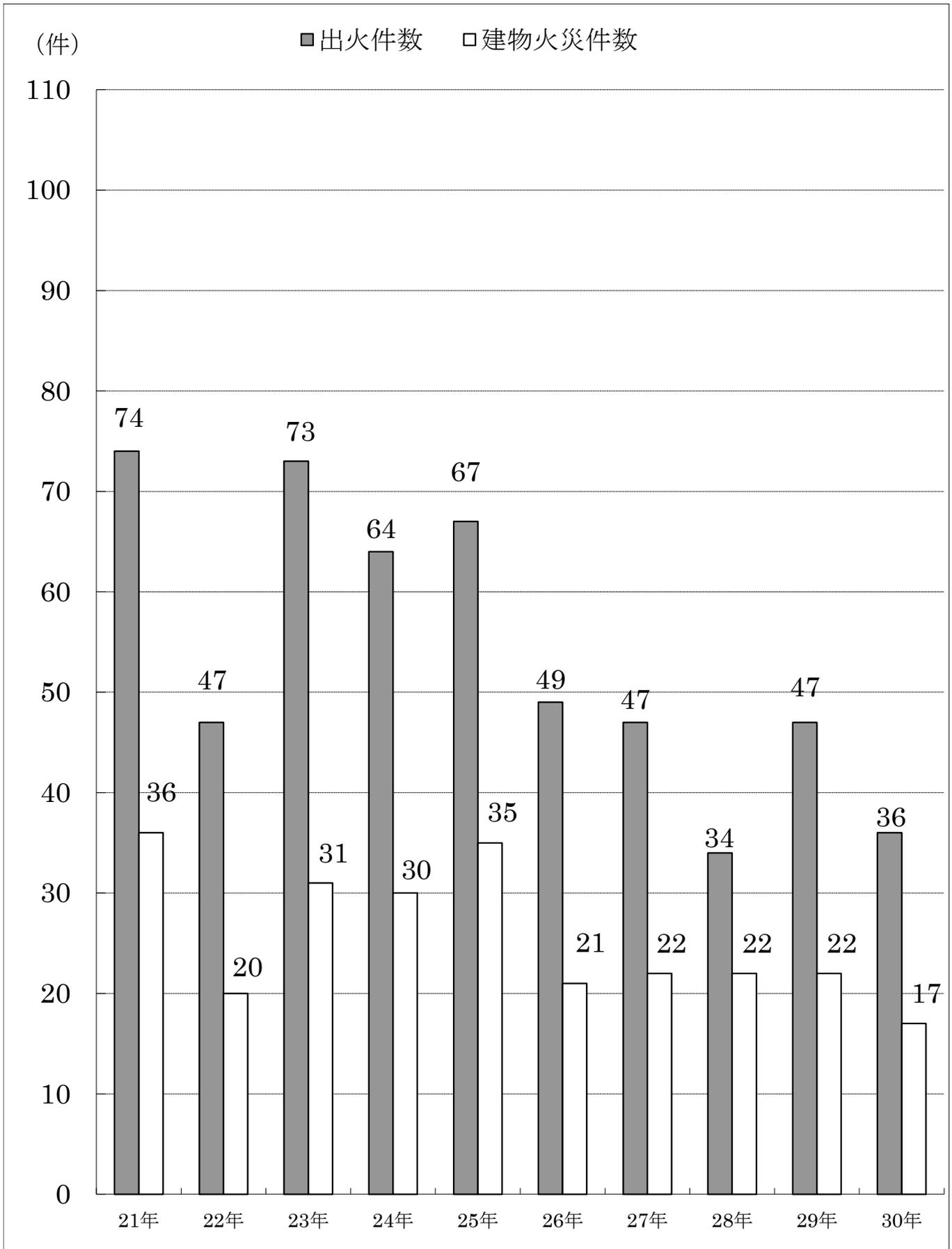
区分	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
		出火件数	件	1		1	1	3		5	2			1
建物火災	件	1						3				1	1	6
林野火災	件													
車両火災	件													
船舶火災	件													
航空機火災	件													
その他の火災	件			1	1	3		2	2					9
焼損棟数	棟	1						3				5	1	10
全焼	棟											1		1
半焼	棟													
部分焼	棟							1						1
ぼや	棟	1						2				4	1	8
焼損床面積(建物)	m <sup>2</sup>											767		767
焼損表面積(建物)	m <sup>2</sup>							2						2
焼損面積(林野)	a													
死者数	人													
建物火災	人													
建物火災以外	人													
負傷者数	人				1			1						2
建物火災	人													
建物火災以外	人				1			1						2
損害額	千円	2				4		605				9,339	9	9,959
建物火災	千円	2						605				9,312	9	9,928
林野火災	千円													
車両火災	千円													
船舶火災	千円													
航空機火災	千円													
その他の火災	千円					4						27		31
り災世帯数	世帯	1						2				2	1	6
全損	世帯													
半損	世帯													
小損	世帯	1						2				2	1	6
り災人員	人	2						3				9	2	16

# 月別出火件数及び損害状況

(平成30年中)

区分		月別												合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
出火件数	件	1	1	5	4	4		6	4	1	5	4	1	36
建物火災	件	1	1	1	1	1		3		1	4	3	1	17
林野火災	件				1									1
車両火災	件			2										2
船舶火災	件													
航空機火災	件													
その他の火災	件			2	2	3		3	4		1	1		16
焼損棟数	棟	1	1	3	1	1		3		1	5	10	1	27
全焼	棟			2							3	5		10
半焼	棟					1								1
部分焼	棟							1				1		2
ぼや	棟	1	1	1	1			2		1	2	4	1	14
焼損床面積(建物)	m <sup>2</sup>			35		36					535	1,100		1,706
焼損表面積(建物)	m <sup>2</sup>							2				1		3
焼損面積(林野)	a				1									1
死者数	人													
建物火災	人													
建物火災以外	人													
負傷者数	人			1	1			1			3			6
建物火災	人			1							3			4
建物火災以外	人				1			1						2
損害額	千円	2	15	1,989	32	3,294		605		32	52,214	65,972	9	124,164
建物火災	千円	2	15	1,742	29	3,290		605		32	52,212	65,945	9	123,881
林野火災	千円													
車両火災	千円			247										247
船舶火災	千円													
航空機火災	千円													
その他の火災	千円				3	4					2	27		36
り災世帯数	世帯	1		1	1	1		2		1	4	3	1	15
全損	世帯					1					2	1		4
半損	世帯													
小損	世帯	1		1	1			2		1	2	2	1	11
り災人員	人	2		3	4	3		3		2	11	11	2	41

# 過去10年間の出火件数の推移



# 原因別出火件数

(平成30年中)

月別 原因別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
たばこ							1						1
こんろ										1			1
かまど													
風呂かまど													
炉													
焼却炉										1			1
ストーブ											1		1
こたつ													
ボイラー													
煙突・煙道													
排気管													
電気機器			1	1			1		1			1	5
電気装置													
電灯・電話等の配線			1	1									2
内燃機関			1										1
配線器具													
火遊び													
マッチ・ライター	1												1
たき火			1	1			2	2		1			7
溶接機・切断機					1								1
灯火							1						1
衝突の火花			1										1
取灰													
火入れ							1						1
放火										1			1
放火の疑い													
その他		1		1	2			1			2		7
不明・調査中					1			1		1	1		4
合計	1	1	5	4	4		6	4	1	5	4	1	36

## 過去10年間の主な出火原因の推移

出火原因	1位	たき火 18件	たき火 11件	たき火 11件	たき火 16件	たき火 12件	たき火 13件	その他 12件	たばこ 5件	たき火 12件	たき火 その他
	2位	こんろ 8件	たばこ こんろ	こんろ 10件	こんろ 9件	その他 9件	その他 7件	こんろ 5件	電灯・ 電話等 の配線 4件	その他 5件	7件
	3位	その他 7件	その他 6件	放火 7件	その他 7件	こんろ 8件	こんろ 火入れ 放火の疑い 3件	たき火 4件	たき火 放火の疑い その他 3件	電気機器 電灯・電話等 の配線 3件	電気機器 5件
出火件数		74件	47件	73件	64件	67件	49件	47件	34件	47件	36件
統計年		21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年

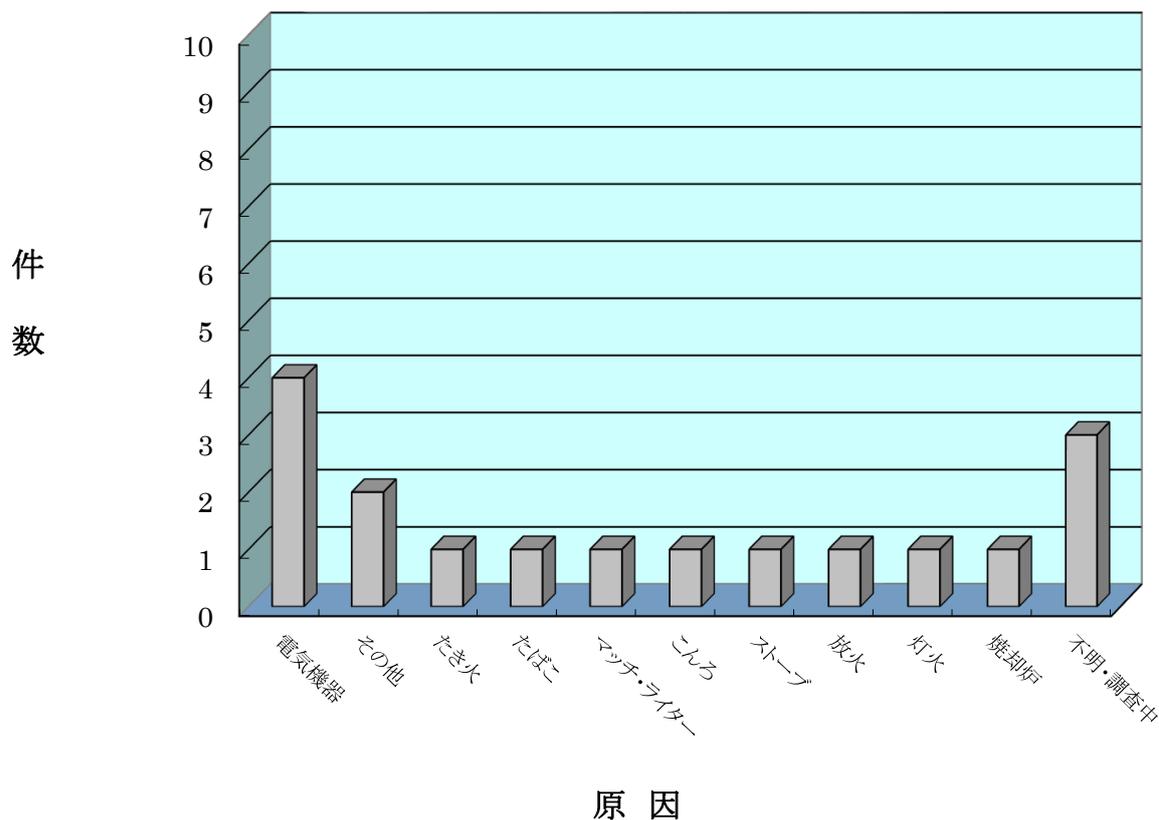
建物用途別出火件数

(平成30年中)

用途別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
住 宅	1			1			1			2			5
共 同 住 宅							1		1	1		1	4
寄 宿 舎													
事 務 所													
店 舗					1						1		2
工 場													
作 業 場											1		1
倉 庫													
納 屋													
物 置			1							1			2
置 場													
車 庫													
養 畜 舎													
そ の 他		1					1				1		3
計	1	1	1	1	1		3		1	4	3	1	17

建物火災の出火原因

(平成30年中)



# 覚知別出火件数

(平成30年中)

覚知別	月別												計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
火災報知専用電話 (NTT以外の固定電話)													
火災報知専用電話 (NTT加入の固定電話)					1			1		1			3
火災報知専用電話 (携帯電話)		1	5	3	1		4	2		4	4		24
加入電話 (固定電話)							1						1
加入電話 (携帯電話)													
警察電話													
駆け付け通報								1					1
事後聞知	1			1	1		1		1			1	6
その他					1								1
合計	1	1	5	4	4		6	4	1	5	4	1	36

# 曜日別火災概況

(平成30年中)

曜日別	内訳	出火件数(件)						死傷者(人)		焼損面積			損害額 (千円)
		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	死者	傷者	建物 (㎡)	表面積 (㎡)	
日曜日		8	1					7	2				107
月曜日		4	4						1	35			8,499
火曜日		6	3		1			2	2	410			27,586
水曜日		3	2					1					28
木曜日		3	1					2		36			3,290
金曜日		7	3	1				3		125	2	1	25,335
土曜日		5	3		1			1	1	1,100	1		59,319
不明													
合計		36	17	1	2			16	6	1,706	3	1	124,164

# 時間別出火概況

警防・救急

(平成30年中)

区分 時間別	出火件数(件)							死傷者(人)		焼損面積			損害額(千円)
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	死者	負傷者	建物(m <sup>2</sup> )	表面積(m <sup>2</sup> )	林野(a)	
0～1													
1～2	2	2							1				6,791
2～3													
3～4													
4～5													
5～6													
6～7	1						1						3
7～8	2	2								36	2		3,810
8～9	5	3					2		1				87
9～10	1						1		1				
10～11													
11～12	2	1					1			333	1		49,944
12～13	4	2	1				1		2	442		1	29,042
13～14	3	1					2						17
14～15	3			1			2						7
15～16	3	2					1		1	770			9,353
16～17	1						1						
17～18	2	1					1			125			24,796
18～19	1	1											29
19～20	2	1		1									249
20～21	2						2						4
21～22													
22～23	1						1						
23～24													
不明	1	1											32
合計	36	17	1	2			16		6	1,706	3	1	124,164

# 気象別出火件数

(平成30年中)

区分		月別												合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
天候	晴		1	5	2	4		4	4	1	3	4	1	29
	曇	1			2			2			2			7
	雨													
	雪													
	不明													
	計	1	1	5	4	4		6	4	1	5	4	1	36
風向	無風状態	1		1								1	1	4
	北										1	1		2
	北北東					1								1
	北東				1						1			2
	東北東							1	1					2
	東								1					1
	東南東													
	南東							1			1			2
	南南東													
	南													
	南南西										1	1		2
	南西			1		1			1	1		1		5
	西南西			1							1			2
	西				2			1	1					4
	西北西		1	1	1			1						4
	北西					1		1						2
	北北西			1		1		1						3
不明														
計	1	1	5	4	4		6	4	1	5	4	1	36	
風速 (m/s)	1未満	1		2	1							1	1	6
	1～2					1		1	1		2			5
	2～3		1	3		2		2			3	2		13
	3～4				2	1		2	1	1		1		8
	4～5				1			1	1					3
	5～6								1					1
	6～7													
	7～8													
	8以上													
	不明													
	計	1	1	5	4	4		6	4	1	5	4	1	36
湿度 (%)	40未満		1		2									3
	40～50			2	1	1		2		1	1			8
	50～60			1				2		1	2			6
	60～70					1		3	2	1		1		8
	70～80	1		2		1		1		1				6
	80～90				1	1					2	1		5
	90～100													
	不明													
計	1	1	5	4	4		6	4	1	5	4	1	36	

月別・市別出動車両・出動人員

(平成30年中)

分類 月別 市別	出火 件数	出動 件数	事後 調査 件数	出動車両 (台)			出動人員 (人)		
				計	消防署	消防団	計	消防署	消防団
1 月	1		1						
2 月	1	1					9	9	
3 月	5	5		6	5	1	166	69	97
4 月	4	3	1	22	8	14	345	69	276
5 月	4	3	1	18	8	10	231	62	169
6 月									
7 月	6	5	1	23	12	11	407	102	305
8 月	4	4		4	4		44	27	17
9 月	1		1				3	3	
10 月	5	5		9	6	3	320	121	199
11 月	4	4		32	14	18	322	89	233
12 月	1		1						
合 計	36	30	6	114	57	57	1,847	551	1,296
宗像市	21	19	2	51	30	21	823	325	498
福津市	15	11	4	63	27	36	1,024	226	798

(注) 出動件数とは、出動指令により火災出動した件数で一連の火災調査も含む。  
事後調査件数とは、事後通報により火災調査のみに出向した件数である。

## 平成30年中の救急概況

### 1 救急出動件数等の概況

平成30年中の救急自動車による救急出動件数及び救急搬送人員は、6,660件、6,278人であり、前年に比べると出動件数は275件、搬送人員は355人それぞれ増加した。

救急自動車による出動件数は、一日平均18.2件で、約79分に1件の割合で救急出動し、市民の約25.8人（前年約27.1人）に1人が救急自動車により搬送されたこととなる。

また、覚知から現場到着までの所要時間の平均は8.8分（前年の全国平均8.6分）、医療機関収容までの所要時間の平均は32.6分（前年の全国平均39.3分）となり、現場到着は全国平均より長くなったものの、医療機関収容は短くなっている。

なお、ヘリコプター使用による搬送件数及び搬送人員は、6件、6人であり、前年と同様であった。

### 2 救急搬送人員の詳細

平成30年中の救急搬送人員を傷病程度別割合で見ると「軽症」が38.0%、「中等症」が55.9%を占めている。事故種別構成比で最も大きかったのは、全体の65.3%を占める「急病」であり、昨年と比べ324人増加しており、「一般負傷」も44人増加している。

年齢区分別割合で見ると「高齢者（65歳以上）」が、全搬送人員の61.5%を占めており、「成人（18歳以上65歳未満）」の28.7%を大きく上回っている。

今後、高齢化の一層の進展による人口構成の変化が見込まれており、救急需要は更に高まる可能性がある。

### 3 応急救護体制の充実

平成30年中は、救命講習及び救急講習をあわせ、計5,700人以上の市民に対し、応急手当普及啓発活動を行った。

市民が広くAEDを使用できる環境を目指し、平成29年8月に開始した「むなかた・ふくつAEDステーション制度」では2施設増加し、計205施設となった。

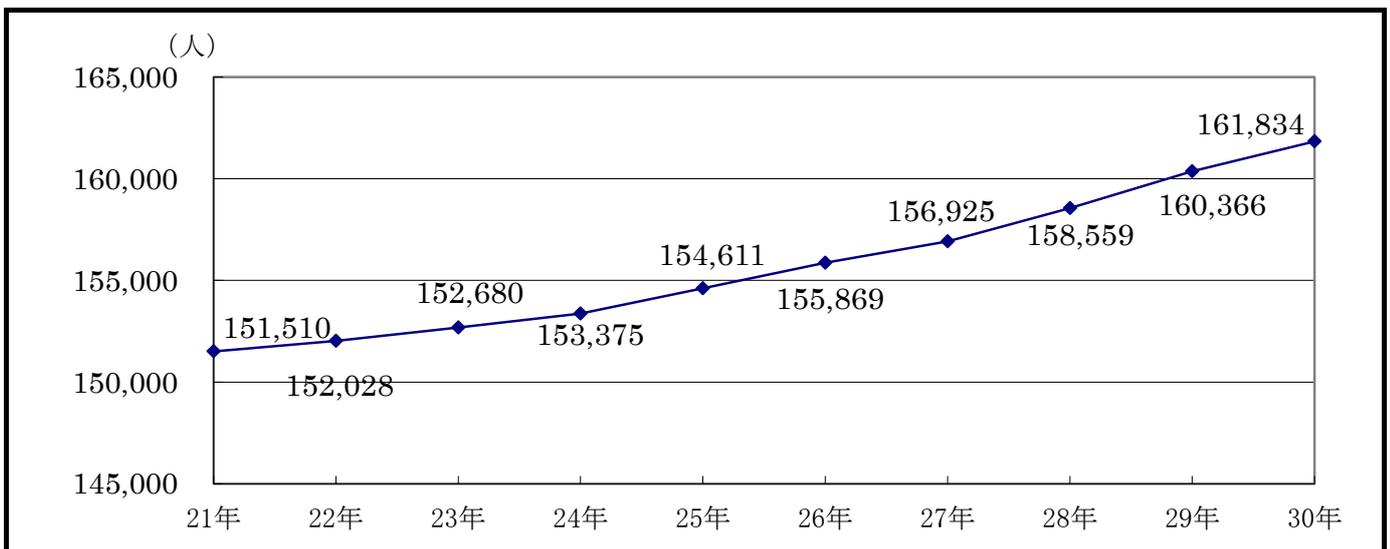
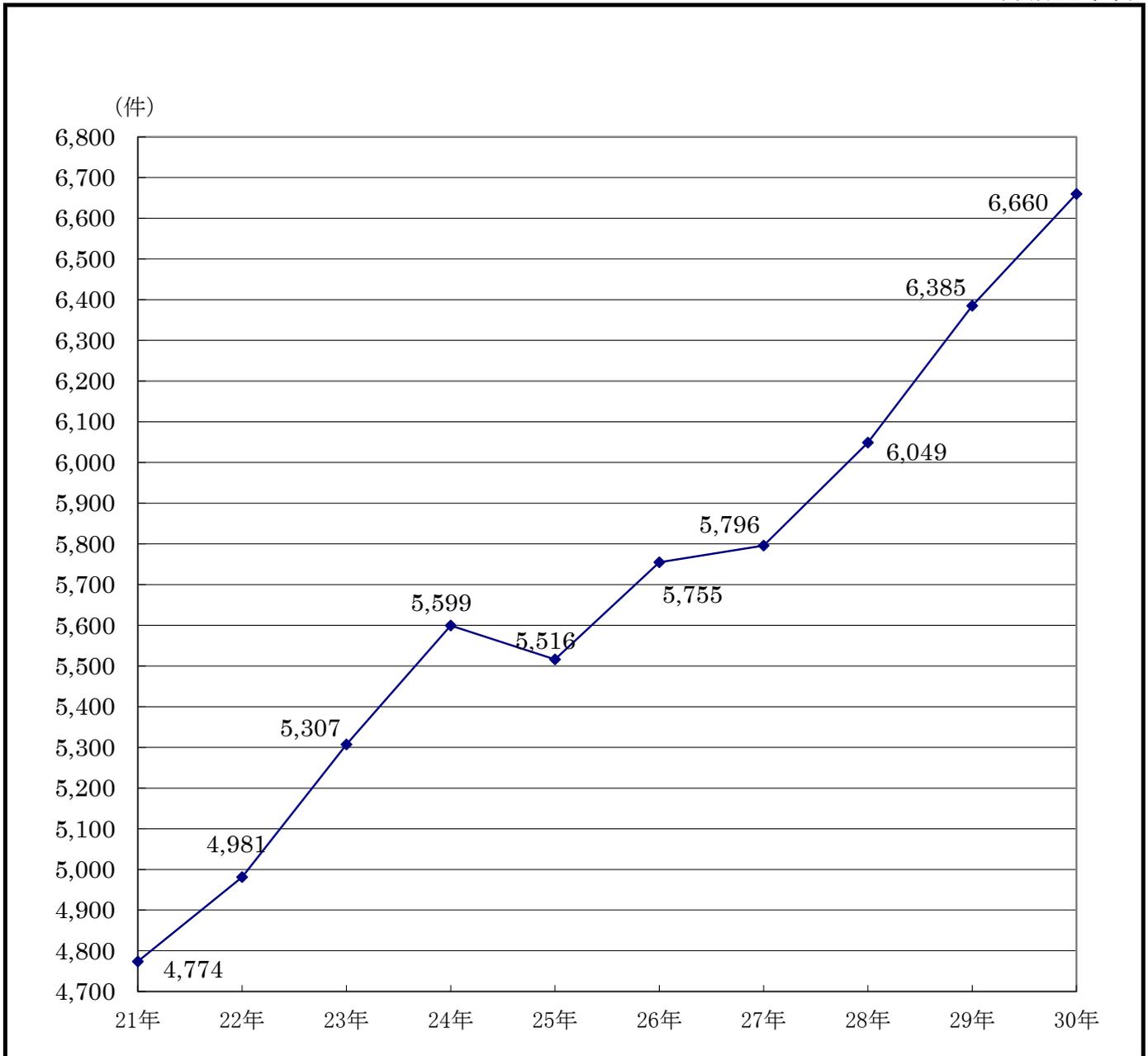
さらに、24時間営業のコンビニエンスストアへAEDを設置させていただく「コンビニAED事業」は1店舗増加し、計50店舗となっている。

また、管内で開催される各種イベントにAEDを貸出す「AED貸出事業」では、前年より貸出申請が6件増加し、市民の周知度も高まっている。

一方、応急手当実施者への感謝の意を伝えるとともに、応急手当実施後の不安や相談に応じる目的で「感謝カード」を作成し、応急手当実施者へ配布することで、バイスタウンダーサポート体制の充実化を図っている。

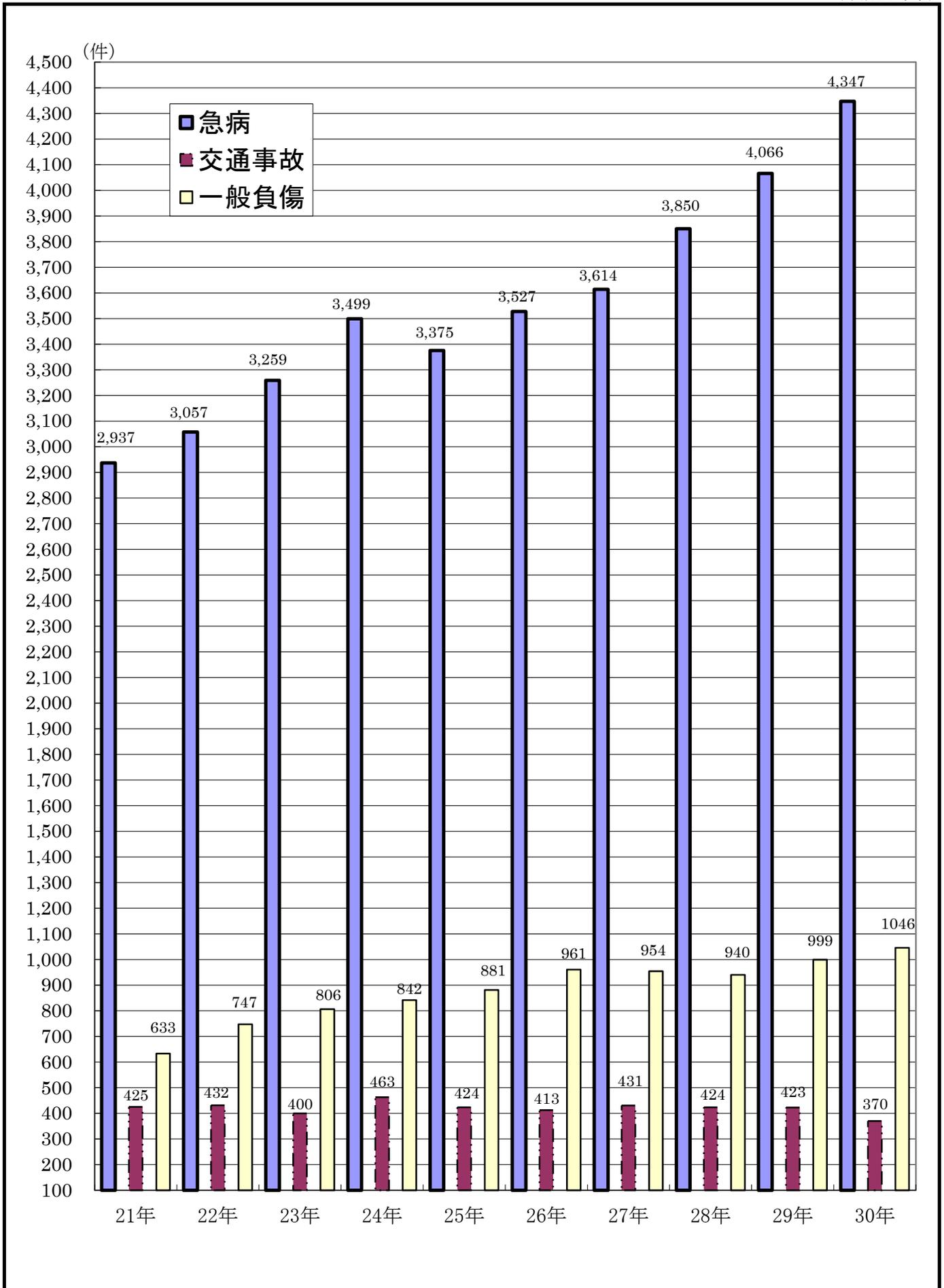
# 過去10年間の救急出動件数及び人口の推移

(平成30年中)



過去10年間の3大事故種別（急病・交通事故・一般負傷）の出動件数の推移

(平成30年中)



## 管内総括表

警防・救急

(平成30年中)

月別	事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計	不搬送
												転院	医師	資器材	その他		
出動件数	1	1			33	3	7	104	2	4	493	49			4	700	
	2	1		1	26	4	2	87	2	3	345	52			5	528	
	3	2			25	5	5	98		1	352	68			2	558	
	4	1			31	4	6	79		10	324	58				513	
	5	1			27	3	4	86		6	335	66			3	531	
	6			1	33	2	4	84	4		304	48			5	485	
	7	3		1	38	9	6	81	5	3	418	46			5	615	
	8			5	39	10	12	80	2	4	376	58			5	591	
	9	1			33	3	8	69		5	333	51			7	510	
	10	6	1	2	29	3	7	98	2	4	344	49			3	548	
	11	3		2	29	1	3	91	1	2	368	54			2	556	
	12				27	1	2	89	1	1	355	47	1		1	525	
	合計	19	1	12	370	48	66	1,046	19	43	4,347	646	1		42	6,660	
	前年	18		9	423	45	77	999	22	34	4,066	642			50	6,385	
搬送件数	1				32	3	7	96	2	2	453	49			1	645	55
	2			1	23	4	2	77	2	2	319	52				482	46
	3	1			24	5	5	84		1	326	68				514	44
	4				24	4	6	76		6	310	58				484	29
	5				25	3	4	78		6	315	66			1	498	33
	6			1	29	2	4	82	4		289	48				459	26
	7	1			37	9	6	79	4	2	404	46				588	27
	8			4	35	10	12	77		3	354	58				553	38
	9				28	3	8	64		4	317	50			1	475	35
	10	3	1	2	23	3	7	92	2	4	329	49				515	33
	11			1	29	1	3	90	1	1	347	54				527	29
	12				24	1	2	86	1		331	47				492	33
	合計	5	1	9	333	48	66	981	16	31	4,094	645			3	6,232	428
	前年	3		5	373	43	74	935	17	23	3,769	636			1	5,879	506
搬送人員	1				32	3	7	96	2	2	454	49			1	646	
	2			1	24	4	2	77	2	2	319	53				484	
	3	1			31	5	5	84		1	326	68				521	
	4				27	4	6	76		6	310	58				487	
	5				26	3	4	78		6	315	66			1	499	
	6			1	30	2	4	82	6		289	48				462	
	7	1			42	9	6	79	4	2	406	46				595	
	8			4	40	10	12	77		3	354	58				558	
	9				35	3	8	64		4	317	50			1	482	
	10	3	1	2	27	3	7	92	2	4	329	49				519	
	11			1	33	1	3	90	1	1	348	54				532	
	12				24	1	2	87	1		331	47				493	
	合計	5	1	9	371	48	66	982	18	31	4,098	646			3	6,278	
	前年	3		6	405	43	75	938	17	23	3,774	637			2	5,923	

# 市別総括表

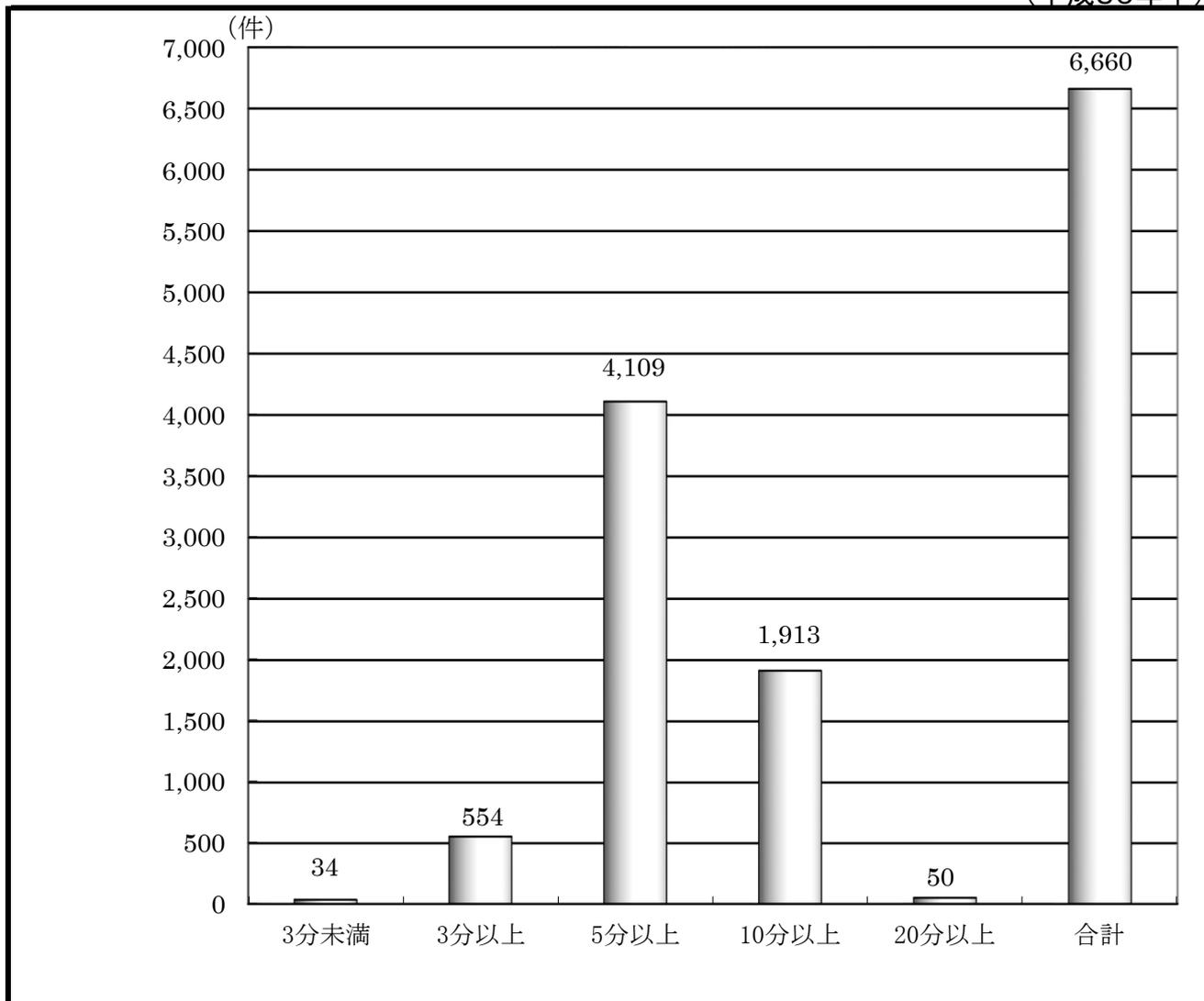
(平成30年中)

市別	事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計	不搬送
												転院	医師	資器材	その他		
出動件数	宗像市	13		5	227	34	57	626	10	29	2,658	430	1		22	4,112	
	福津市	5	1	7	141	14	9	420	9	14	1,689	216			20	2,545	
	管外	1			2											3	
	合計	19	1	12	370	48	66	1,046	19	43	4,347	646	1		42	6,660	
搬送件数	宗像市	4		4	206	34	57	587	9	23	2,506	429			3	3,862	250
	福津市	1	1	5	125	14	9	394	7	8	1,588	216				2,368	177
	管外				2											2	1
	合計	5	1	9	333	48	66	981	16	31	4,094	645			3	6,232	428
搬送人員	宗像市	4		4	228	34	57	587	10	23	2,509	430			3	3,889	
	福津市	1	1	5	141	14	9	395	8	8	1,589	216				2,387	
	管外				2											2	
	合計	5	1	9	371	48	66	982	18	31	4,098	646			3	6,278	

# 救急自動車による現場到着所要時間別出動件数の状況

警防・救急

(平成30年中)



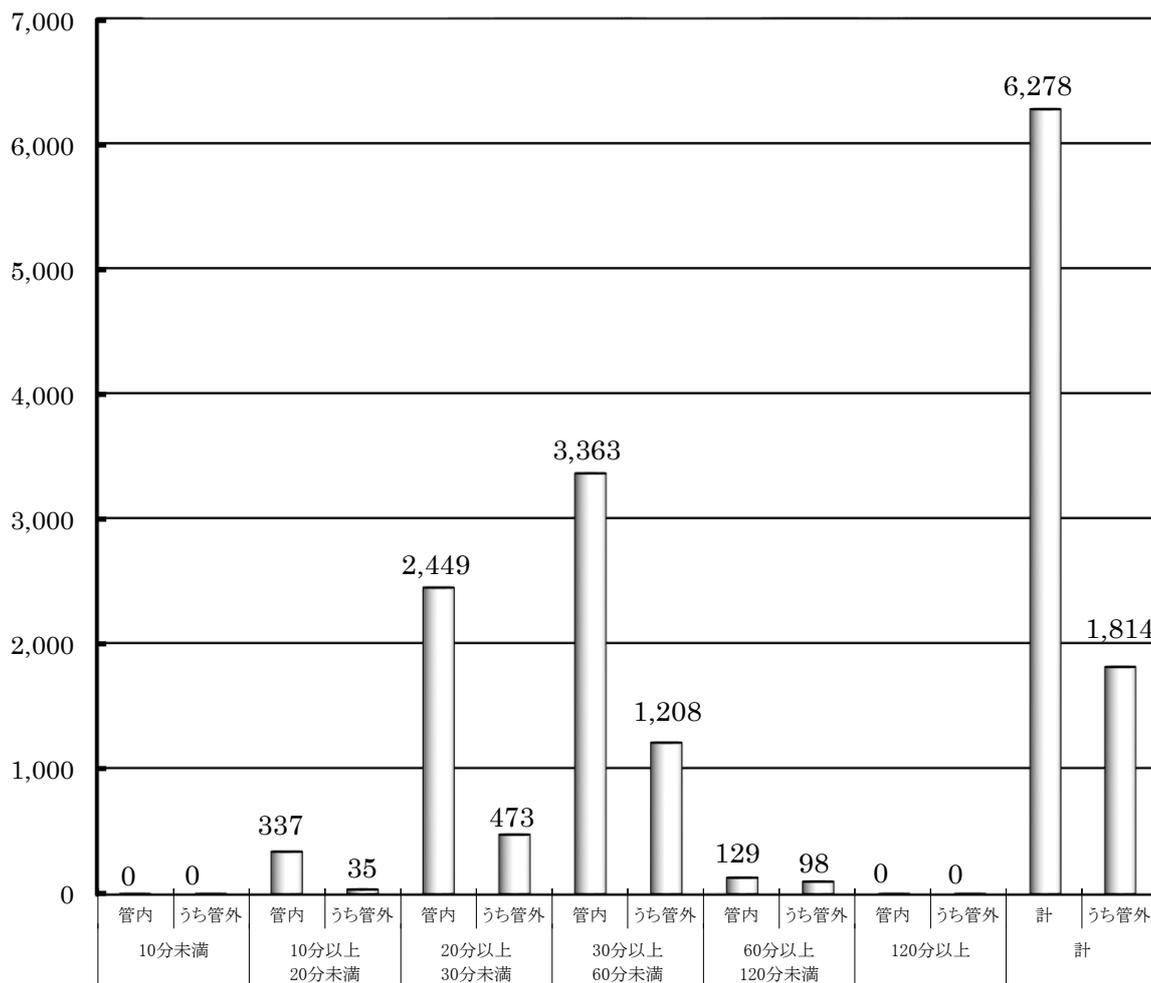
事故種別	現場到着所要時間					計	現場到着 平均 所要時間(分)
	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上		
合計	34	554	4,109	1,913	50	6,660	8.8
急病	20	293	2,824	1,189	21	4,347	8.8
交通事故	3	22	203	137	5	370	9.5
一般負傷	5	77	635	318	11	1,046	9.0
その他	6	162	447	269	13	897	8.7

(注) 1 現場到着所要時間とは、覚知から現場到着までに要した時間をいう。  
 2 上記「その他」は「急病」「交通事故」「一般負傷」以外の事故種別をいう。

# 医療機関収容所要時間

(平成30年中)

(人員)



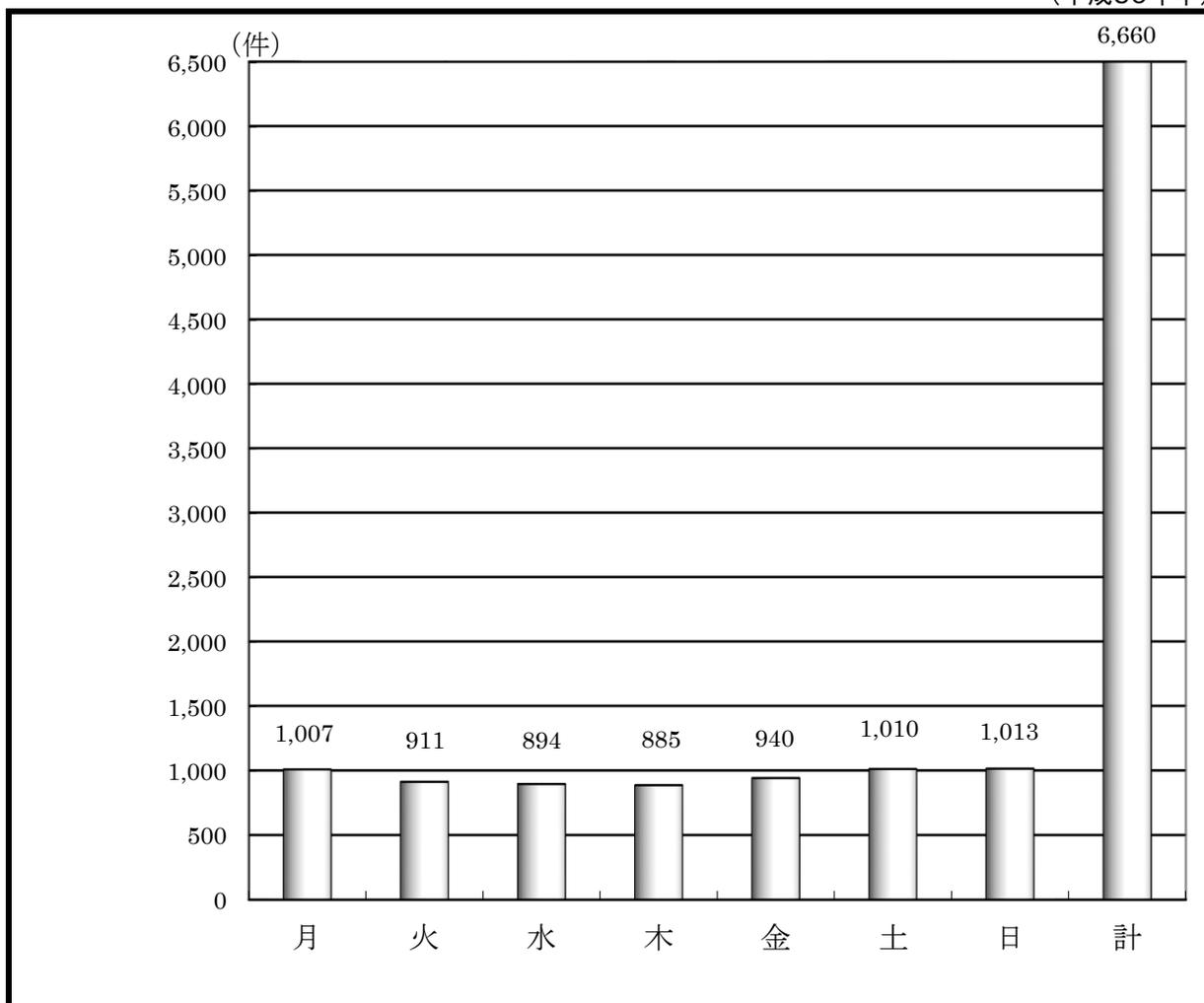
事故種別	10分未満		10分以上 20分未満		20分以上 30分未満		30分以上 60分未満		60分以上 120分未満		120分以上		計	うち 管外	収容平均 所要時間 (分)
	管内	うち 管外	管内	うち 管外	管内	うち 管外	管内	うち 管外	管内	うち 管外	管内	うち 管外			
合計			337	35	2,449	473	3,363	1,208	129	98			6,278	1,814	32.6
急病			191	16	1,580	305	2,250	755	77	59			4,098	1,135	32.5
交通事故			33	2	136	8	196	60	6	4			371	74	32.0
一般負傷			73	6	424	53	472	127	13	5			982	191	31.2
その他			40	11	309	107	445	266	33	30			827	414	35.0

(注) 1 収容所要時間とは、覚知から傷病者を医療機関等に収容するまでに要した時間をいう。  
 2 上記「その他」は「急病」「交通事故」「一般負傷」以外の事故種別をいう。

# 曜日別出動件数

警防・救急

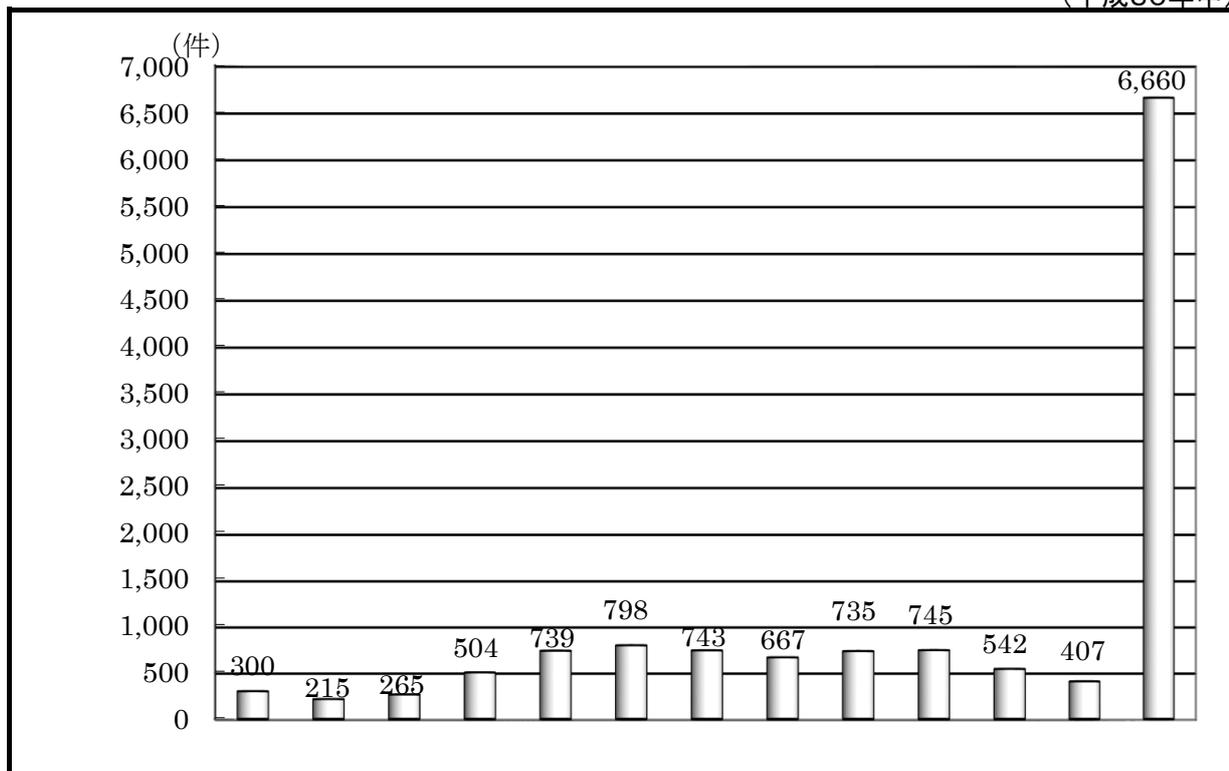
(平成30年中)



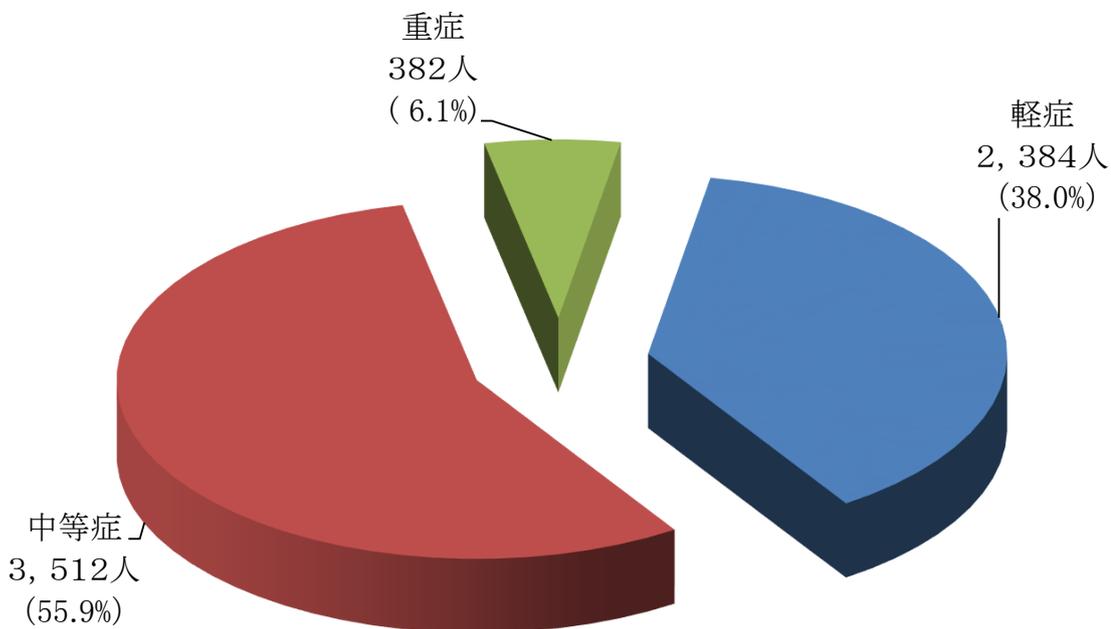
曜日 事故種別	月	火	水	木	金	土	日	計
合計	1,007	911	894	885	940	1,010	1,013	6,660
火災	3	5		1	3	3	4	19
自然災害						1		1
水難		2	1	1	2	1	5	12
交通事故	46	45	57	49	53	64	56	370
労働災害	6	8	6	11	10	2	5	48
運動競技	5	2	3	6	5	16	29	66
一般負傷	151	145	145	118	160	162	165	1,046
加害	1	4	3	2	2	3	4	19
自損行為	7	2	6	7	8	5	8	43
急病	676	592	578	571	589	666	675	4,347
その他	112	106	95	119	108	87	62	689
前年	914	926	913	847	919	910	956	6,385

# 時間別出動件数

(平成30年中)



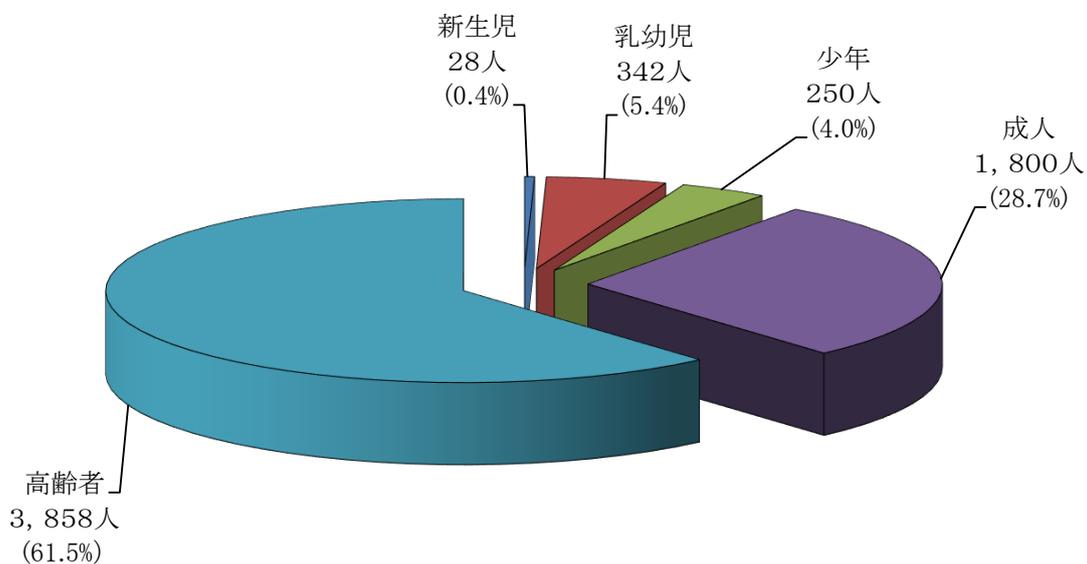
事故種別	時間別													計
	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22		
合計	300	215	265	504	739	798	743	667	735	745	542	407	6,660	
火災	3			1	3	1	4	3	2	1	1		19	
自然災害					1								1	
水難	1	1				1	2	4	2	1			12	
交通事故	4		8	31	43	42	39	50	69	49	22	13	370	
労働災害				1	7	6	10	9	8	5	2		48	
運動競技				1	4	19	19	10	7	5	1		66	
一般負傷	29	21	33	76	122	144	116	119	124	123	88	51	1,046	
加害	1	1	1		1	1	3		3		4	4	19	
自損行為	3	1	3	4	5	3	3	6	4	6	3	2	43	
急病	229	177	201	380	498	459	420	379	408	499	393	304	4,347	
その他	転院	28	11	17	9	50	119	120	83	104	53	24	28	646
	医師							1						1
	資器材													
	その他	2	3	2	1	5	3	6	4	4	3	4	5	42
前年	302	209	213	454	700	740	752	638	737	673	539	428	6,385	



事故種別 程度別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
合計	5	1	9	371	48	66	982	18	31	4,098	649	6,278
軽症	1		1	228	28	45	517	10	9	1,500	45	2,384
中等症	4	1	3	135	18	20	432	7	13	2,360	519	3,512
重症			5	8	2	1	33	1	9	238	85	382
死亡												

# 年齢別搬送人員

(平成30年中)



年 齢	事故種別	事故種別											計
		火 災	自然災害	水 難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	その他	
新 生 児 (生後28日未満)											4	24	28
乳 幼 児 (生後28日以上7歳未満)					9			62			229	42	342
少 年 (7歳以上18歳未満)					33	1	47	36		3	114	16	250
成 人 (18歳以上65歳未満)		5	1	7	242	44	16	141	11	19	1,090	224	1,800
高 齢 者 (65歳以上)				2	87	3	3	743	7	9	2,661	343	3,858
合 計		5	1	9	371	48	66	982	18	31	4,098	649	6,278

# 救急隊員が行った応急処置等の状況

警防・救急

(平成30年中)

事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	計
処置対象人員	4,095	371	981	825	6,272
処置項目					
止血	20	9	36	9	74
固定	95	165	298	64	622
人工呼吸	55	2	6	11	74
酸素吸入	780	20	56	251	1,107
保温	1,066	73	191	234	1,564
被覆	18	58	219	30	325
心肺蘇生	132	4	15	21	172
うち自動式心マッサージ器使用	37	1	3	8	49
在宅療法	11		1	1	13
ショックパンツ					
血圧測定	3,885	351	931	766	5,933
心音・呼吸音聴取	3,928	354	881	759	5,922
血中酸素飽和度測定	4,001	368	968	809	6,146
心電図測定	3,697	250	755	715	5,417
気道確保	156	4	21	26	207
うち経鼻エアウェイを使用しての気道確保	1		1		2
うち喉頭鏡・鉗子等による異物除去	11	1	10	5	27
うちラリングマスク等を使用しての気道確保	46		4	4	54
うち気管挿管を使用しての気道確保	3		3	4	10
除細動	14			2	16
静脈路確保	83	3	11	11	108
薬剤投与	28	1	3	3	35
その他	3,794	321	895	756	5,766

(注) 1 1名に付き複数の応急処置を行うこともあるため、応急処置対象人員と事故種別ごとの処置項目の計の数とは一致しない。

2 上記「その他」は「急病」「交通事故」「一般負傷」以外の事故種別をいう。

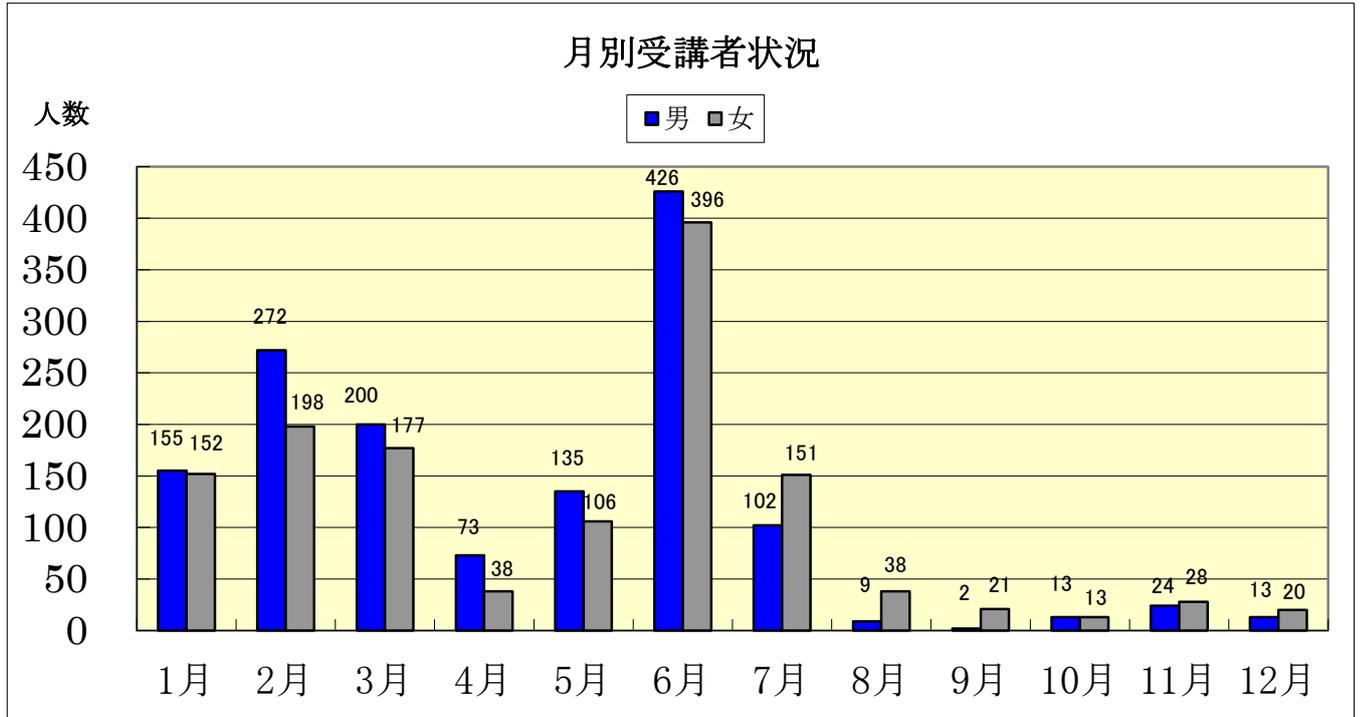
# 急病にかかる疾病分類別搬送人員

(平成30年中)

年齢区分		疾病分類										計
		脳疾患	心疾患	消化系	呼吸系	精神系	感覚系	泌尿系	新生物	その他	不明確	
新生児	死亡											
	重症									1		1
	中等症									3		3
	軽症											
	小計									4		4
乳幼児	死亡											
	重症				1					1		2
	中等症			2	6		6			61	10	85
	軽症	1		7	8	1	3			103	19	142
	小計	1		9	15	1	9			165	29	229
少年	死亡											
	重症									1		1
	中等症				6	3	7	1		12	18	47
	軽症		1	6	10	4	7			17	21	66
	小計		1	6	16	7	14	1		30	39	114
成人	死亡											
	重症	13	10	2	2			1	2	16	3	49
	中等症	29	42	53	40	38	19	26	7	147	165	566
	軽症	5	15	44	57	36	28	34	1	109	146	475
	小計	47	67	99	99	74	47	61	10	272	314	1,090
高齢者	死亡											
	重症	46	23	6	14		1		4	75	16	185
	中等症	168	177	128	258	5	29	45	23	316	510	1,659
	軽症	26	52	45	48	17	38	16	2	221	352	817
	小計	240	252	179	320	22	68	61	29	612	878	2,661
計	死亡											
	重症	59	33	8	17		1	1	6	94	19	238
	中等症	197	219	183	310	46	61	72	30	539	703	2,360
	軽症	32	68	102	123	58	76	50	3	450	538	1,500
合計		288	320	293	450	104	138	123	39	1,083	1,260	4,098

(注) 年齢区分は新生児(生後28日未満)、乳幼児(生後28日以上7歳未満)、少年(7歳以上18歳未満)、成人(18歳以上65歳未満)、高齢者(65歳以上)を示す。

(平成30年中)



月別	普通救命講習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ						上級救命講習						合計	
	受講者数						受講者数							
	男	再講習	女	再講習	合 (男・女)	計 (再講習)	男	再講習	女	再講習	合 (男・女)	計 (再講習)	普通・上級	再講習
1月	155	13	152	22	307	35							307	35
2月	272	38	198	23	470	61							470	61
3月	200	1	177		377	1							377	1
4月	53	37	25	15	78	52	20	3	13	1	33	4	111	56
5月	135		106		241								241	
6月	426	10	396	5	822	15							822	15
7月	102	17	151	58	253	75							253	75
8月	9	2	38	20	47	22							47	22
9月	2		21		23								23	
10月							13	3	13	3	26	6	26	6
11月	24	3	28	1	52	4							52	4
12月	13	1	20	5	33	6							33	6
小計	1,391	122	1,312	149	2,703	271	33	6	26	4	59	10	2,762	281
合計	2,703(271)						59(10)						2,762(281)	
累計	67,624(8,481)						2,655(220)						70,279(8,701)	

※ 平成30年中の救命講習 受講者総数 2,762人  
 うち普通救命講習 受講者数 2,703人  
 うち上級救命講習 受講者数 59人

※ 平成30年12月31日現在の救命講習 受講者総数 70,279人  
 うち普通救命講習 受講者数 67,624人  
 うち上級救命講習 受講者数 2,655人

※ 平成30年中の応急手当普及員講習 受講者数 10人  
 ※ 平成30年中の救急講習回数～95回 受講者数～3,025人

# 消防隊による救急活動状況

## ・消防隊による救急活動件数

(平成30年中)

事故種別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
活動件数	宗像市				6		1	8		3	34	5	57
	福津市				2			3		1	15	1	22
	管外												
	合計				8		1	11		4	49	6	79

※ 「消防隊による救急活動」とは、救急隊が現場到着まで10分以上要する場合に消防隊が先行出動し、救急隊に引継ぐまで応急処置等を行うもの。

## ・消防隊による救急支援活動件数

(平成30年中)

事故種別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
活動件数	宗像市			2	31			33	5	9	180	2	262
	福津市			2	14	1		19	1	6	99	2	144
	管外												
	合計			4	45	1		52	6	15	279	4	406

※ 「消防隊による救急支援活動」とは、救急隊単隊では搬送困難な場合や救急活動に際し危険がある場合に救急隊と同時出動し、搬送支援または現場安全確保にあたるもの。

## 平成30年中の救助概況

平成30年中の救助出動件数は60件で、前年と比べると21件増加している。救助活動件数は35件で、13件増加している。

なお、救助人員は39人で、前年と比べると17人増加している。(下表参照)

### 救助活動件数及び救助人員の推移

区分 年	救助活動件数		救助人員	
	件数	対前年増減率	人員	対前年増減率
26年	27	▲30.8%	26	▲21.2%
27年	24	▲11.1%	22	▲15.4%
28年	23	▲4.2%	23	4.5%
29年	22	▲4.3%	22	▲4.3%
30年	35	59.1%	39	77.3%

事故種別ごとに出動件数をみると、最も多いのは、「建物等による事故」の21件で全体の35%を占めている。次いで「交通事故」17件(28.3%)、以下「その他の事故」11件(18.3%)、「水難事故」10件(16.7%)、「火災」1件(1.7%)の順となっている。

救助活動件数では、「建物等による事故」が最も多く15件で全体の42.8%を占め、次いで「交通事故」8件(22.9%)、「その他の事故」が6件(17.1%)、「水難事故」5件(14.3%)、「火災」が1件(2.9%)の順となっている。

救助人員は39人で、救助活動件数よりも多く救助していることになり、救助人員が2人以上の救助事案が2件あった。事故種別ごとにもと、「建物等による事故」が15人で最も多く、全体の38.5%を占めている。

## 管内総括表

(平成30年中)

事故種別 区分	火災	交通事故	水難事故	風自然 水災害 等	機械に よる事故	建物等 による事故	ガス欠 及び事故	破裂事故	その他	合計	前年
出動件数 (件)	1	17	10			21			11	60	39
活動件数 (件)	1	8	5			15			6	35	22
救助人員 (人)	1	9	8			15			6	39	22
活動人員 (人)	7	108	61			92			58	326	438
活動車両台数(台)	2	35	22			26			18	103	113

## 主な救助活動

(平成30年中)

発生日	発生場所	事故種別	事故内容	出動状況		活動状況		救助人員
				人員	台数	人員	台数	
3月9日	宗像市池田	その他の事故	作業員1人が地上3.5m下のコンクリート張り水路内(水深3cm)へ墜落し、自力での脱出が不可能となった救助事案である。立位のままバックボード固定し、舟形担架に収容、救助工作車クレーンを使用して水平状態を保ち救出したものの。	7	2	7	2	1
3月19日	福津市舍利蔵	交通事故	軽自動車が発利蔵川土手の竹林をなぎ倒しながら滑落した救助事案である。舟形担架へ収容し30m三つ打ちロープにて、2倍力システムで介添えしながら引き揚げ救出したものの。	16	5	16	5	1
7月9日	福津市光陽台	建物等による事故	1階屋根を修理していた際に、急病により動けなくなった救助事案である。傷病者を2階窓近くに搬送し、バックボード固定を行い、2階窓から屋内に引き入れ、階段を利用して徒手搬送にて救出したものの。	7	2	7	2	1
8月17日	福津市渡	水難事故	海水浴中に100m沖合へ4人(大人2人、子供2人)が流され、子供2人は自力で海岸へ。大人1人は自力で岩場へ泳ぎ着いたが自力歩行不可能。大人1人は更に沖合へ流された救助事案である。岩場へ泳ぎ着いた1人は舟形担架に収容し搬送。沖合へ流された1人は福岡市消防局ヘリにて発見後、ヘリでピックアップし砂浜に救出したものの。	19	7	19	7	2

市別救助出動件数

(平成30年中)

事故種別		火災	交通事故	水難事故	風自然 水災害 等	よる 機械に よる事故	建よる 物等に よる事故	ガ酸 ス欠 及事 び故	破裂 事故	その 事故 他	計
出動 件数	宗 像 市	1	9	5			14			11	40
	福 津 市		8	5			7				20
	管 外										
	合 計	1	17	10			21			11	60
事故種別		火災	交通 事故	水難 事故	風自然 水災害 等	よる 機械に よる事故	建よる 物等に よる事故	ガ酸 ス欠 及事 び故	破裂 事故	その 事故 他	計
活動 件数	宗 像 市	1	4	2			11			6	24
	福 津 市		4	3			4				11
	管 外										
	合 計	1	8	5			15			6	35
事故種別		火災	交通 事故	水難 事故	風自然 水災害 等	よる 機械に よる事故	建よる 物等に よる事故	ガ酸 ス欠 及事 び故	破裂 事故	その 事故 他	計
救助 人員	宗 像 市	1	5	2			11			6	25
	福 津 市		4	6			4				14
	管 外										
	合 計	1	9	8			15			6	39

月別救助出動件数

(平成30年中)

事故種別	火災	交通 事故	水難 事故	風自然 水災害 等	よる 機械に よる事故	建よる 物等に よる事故	ガ酸 ス欠 及事 び故	破裂 事故	その 事故 他	計	前 年
合 計	1	17	10			21			11	60	39
1 月		2	1			3			1	7	1
2 月		1	1			1				3	4
3 月		1				1			3	5	4
4 月		2				1				3	2
5 月						2			1	3	1
6 月		3	2			1			1	7	1
7 月			2			4				6	3
8 月		2	3			1			1	7	5
9 月		1				2				3	3
10 月	1	1				3			1	6	5
11 月			1			1				2	6
12 月		4				1			3	8	4

# 119番受信状況

(平成30年中)

	火 災		救 急		その他の 災 害		問合せ		まちがい		いたずら		試 験		その他		計	
	携帯		携帯		携帯		携帯		携帯		携帯		携帯		携帯		携帯	
1 月	2	2	712	521	21	17	27	17	29	20	0	0	13	2	84	64	888	643
2 月	5	4	531	366	7	5	28	20	40	31	1	1	40	0	77	46	729	473
3 月	8	7	557	410	12	10	33	26	66	47	1	1	45	1	124	88	846	590
4 月	3	3	517	387	9	6	38	27	32	16	5	1	55	0	86	56	745	496
5 月	9	8	543	393	13	13	24	17	36	18	1	0	33	0	107	69	766	518
6 月	4	4	488	381	11	11	33	28	45	18	4	1	32	0	117	77	734	520
7 月	7	6	627	483	44	32	45	32	47	17	5	1	18	0	117	73	910	644
8 月	8	7	602	446	13	12	37	32	30	16	4	0	5	0	89	66	788	579
9 月	2	2	507	384	17	15	34	26	42	20	2	0	8	0	111	75	723	522
10 月	10	9	542	410	15	9	35	28	37	22	4	1	24	1	101	76	768	556
11 月	15	15	565	435	11	8	31	24	46	18	4	0	29	0	107	71	808	571
12 月	1	1	536	398	16	13	31	19	46	17	8	1	25	0	85	63	748	512
合 計	74	68	6,727	5,014	189	151	396	296	496	260	39	7	327	4	1,205	824	9,453	6,624

## 無線局数

基地局数： 3 局  
 移動局数： 77 局  
 防災相互波・署活動系： 35 局

## 携帯電話数

衛星携帯電話： 2 台  
 携 帯 電 話： 23 台

平成31年4月1日 現在

消防団の活動

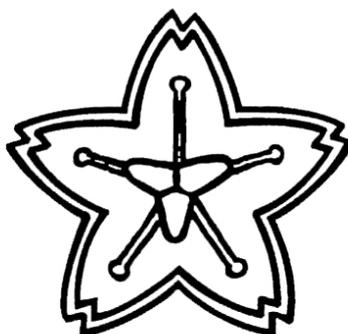
消防団は、郷土愛の精神と自らの郷土は、自らが守るという自主防災意識の高い人々により組織され、地域住民の尊い生命、財産を火災や台風・洪水などの災害から守るため日夜活躍しています。

勇気

宗像市消防団

福津市消防団

団結



迅速

30年度主な活動

6月



宗像地区合同水防訓練



福津・古賀団署合同防ぎょ訓練

11月

- 福津市消防団機関員訓練(5月)
- 宗像市合同分団訓練(5~6月)
- 宗像市水害対応訓練(6月)
- 団・署合同水防訓練(6月)
- 宗像地区消防操法大会(6月)
- 福岡県消防操法大会(7月)
- 宗像市全団員訓練(10月)
- 秋季火災予防週間防火啓発パレード(11月)
- 福津・古賀団署合同火災防ぎょ訓練(11月)
- 年末夜警(12月)
- 宗像市合同分団訓練(12~1月)
- 平成31年宗像地区消防出初式(1月)
- 文化財防ぎょ訓練(1月)
- 女性消防団員研修(2月)
- 団・署合同林野火災防ぎょ訓練(3月)



平成31年宗像地区消防出初式

1月

3月



林野火災防ぎょ訓練



文化財防ぎょ訓練

消防団の組織

(平成31年4月1日現在)

・宗像市消防団

団長 熊谷 浩文

	分 団 名	区 域	実 員	
副団長	本部分団	宗像市全域	23人	※
	第1分団	吉武地区	39人	
	第2分団	赤間地区	32人	
	第3分団	田久・土穴地区	27人	
	第4分団	自由ヶ丘地区	23人	
	第5分団	河東・赤間西地区	47人	
	第6分団	南郷(南部)地区	40人	
	第7分団	南郷(北部)地区	30人	
	第8分団	東郷地区	30人	
	第9分団	田熊・用山・村山田地区	32人	
	第10分団	日の里地区	26人	
	第11分団	田島地区	43人	
	第12分団	神湊地区	63人	
	第13分団	池野地区	32人	
	第14分団	岬地区	57人	
	第15分団	大島一円	30人	
第16分団	大島一円	35人		
宗像市・県総合庁舎 合同分団	宗像市全域	25人		

団長

副団長

副団長

※本部分団には、団長、副団長及び女性班を含む。

消防団の組織

(平成31年4月1日現在)

・福津市消防団

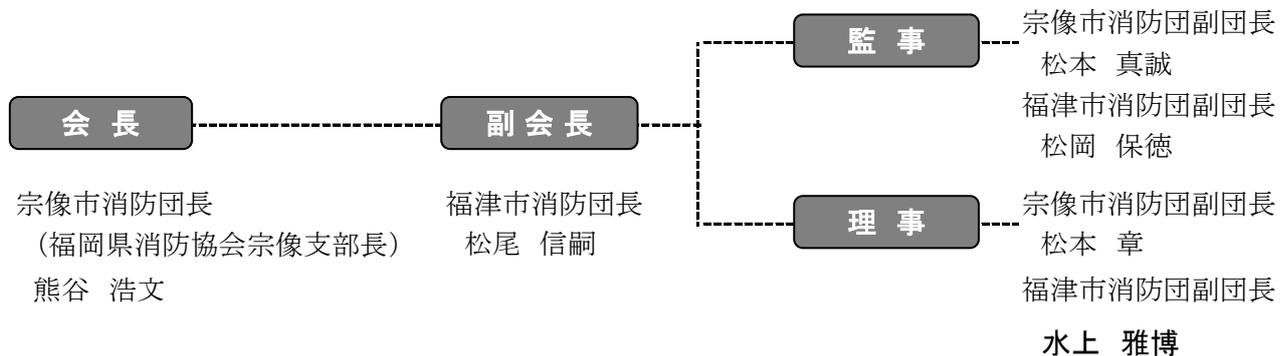
団長 松尾 信嗣

分団名	区 域	実 員	
本部分団	福津市全域	15人	※
第1分団	津屋崎地区各区・渡区の区域	32人	
第2分団	宮司地区各区・在自区、宮司ヶ丘地区、 五反田区、星ヶ丘区の区域	30人	
第3分団	須多田区、大石区・生家区、塩浜区、梅津区の区	21人	
第4分団	奴山区、桂区、西東区、勝浦浜区、 勝浦松原区の区域	21人	
第5分団	四角区、両谷区、光陽台1区・2区・3区・南区、 日蔭野1～6区の区域	27人	
第6分団	緑町、南町、本町区、昭和町1区、西福間1区、 大和1区・2区、古町区、福間松原区、 日蔭野1～6区の区域	27人	
第7分団	花見1区・2区・3区・4区、原町1区・2区・3区、 有弥の里1区・2区、日蔭野1～6区の区域	16人	
第8分団	手光区、通り堂区、光陽台4区・5区・6区、 小竹区、冠区、東福間1～11区、高平区の区域	17人	
第9分団	津丸区、久末区、若木台1～6区、桜川区、 あけぼの区、八波区の区域	23人	
第10分団	上西郷区、内殿区、舍利蔵区、 日蔭野1～6区の区域	25人	
第11分団	畦町区、本木区の区域	16人	
第12分団	福間沿岸	8人	
第13分団	津屋崎沿岸	16人	

※本部分団には、団長、副団長及び女性班を含む。

## 福岡県消防協会 宗像地区連絡協議会の組織

(平成31年4月1日現在)



## 消防団の定員および実員

(平成31年4月1日現在)

市別	宗 像 市	福 津 市	計
定 員	634	361	995
実 員	634	294	928

## 消防団の出動状況

(平成30年中)

市別	宗 像 市	福 津 市	合 計
火 災 件 数	21	15	36
消 防 機 械 出 動 件 数	21	36	57
出 動 延 人 員	498	798	1,296

## 消防ポンプ車等の装備状況

(平成31年4月1日現在)

市別	宗 像 市	福 津 市	合 計
普通消防ポンプ自動車	16	11	27
水槽付消防ポンプ自動車		1	1
小型動力ポンプ	6	8	14
計	22	20	42